

赤平市

市民アンケート

令和3年度調査 調査報告書

企画課

2021年9月1日

目次

調査の概要	5
調査票の回収結果.....	5
調査票の配布数と回収率.....	5
集計結果の表し方.....	5
1. 回答者の属性	6
(1) 回答者の性別.....	6
(2) 回答者の年齢.....	6
(3) 回答者の職業.....	7
(4) 回答者の居住地区.....	7
(5) 回答者の居住年数.....	8
(6) 回答者の世帯構成.....	8
(7) 回答者の SNS 利用状況	9
男女別・年齢別の集計	9
居住地区別の集計.....	9
2. 赤平市への愛着度・定住意向.....	10
(1) 赤平市への愛着度.....	10
男女別・年齢別の集計	10
居住地区別の集計.....	11
居住年数別の集計.....	11
(2) 赤平市での定住意向.....	11
男女別・年齢別の集計	12
居住地区別の集計.....	12
居住年数別の集計.....	13
(3) 赤平市に住み続けたい理由.....	13
その他の内容（多寡問わず掲載）	14
男女別・年齢別の集計	14
居住地区別の集計.....	15
居住年数別の集計.....	15
(4) 赤平市から移転したいと思う理由.....	16
その他の内容（多寡問わず掲載）	17
男女別・年齢別の集計	17
居住地区別の集計.....	18
居住年数別の集計.....	18
3. 赤平市の取組について.....	19
(1) 現状の満足度.....	19

基本目標 1 健やかな暮らしをともに支え合うまち	19
基本目標 2 安全・安心で快適に暮らせるまち	19
基本目標 3 活力に満ちた魅力あふれるまち	20
基本目標 4 とともに学び合い豊かな心を育むまち	20
基本目標 5 ふれあいと交流で創る協働のまち	20
【満足度が高い施策項目】	21
満足度が低い（不満度の高い）施策項目	22
(2) 今後の重要度	23
基本目標 1 健やかな暮らしをともに支え合うまち	23
基本目標 2 安全・安心で快適に暮らせるまち	23
基本目標 3 活力に満ちた魅力あふれるまち	24
基本目標 4 とともに学び合い豊かな心を育むまち	24
基本目標 5 ふれあいと交流で創る協働のまち	24
重要度が高い施策項目	25
重要度が低い施策項目	26
(3) 評価点による評価	27
評価点の計算方法について	27
満足度の評価点	28
満足度評価／全体	29
重要度の評価点	30
重要度評価／全体	31
(4) 今後力を入れるべき項目	32
全体の満足度偏差値と重要度偏差値	32
4. 住まい・住環境について	35
(1) 現在住んでいる住宅について	35
① 現在住んでいる住宅の種類	35
② 現在住んでいる住宅の建築年	35
③ 現在住んでいる住宅や日常生活で心配していること	36
(2) 住み替えについて	38
① これからも現在の住宅に住み続けたいか	38
② どのような場所に住み替えたいか	39
③ 住み替えたい理由	40
④ どのような住宅に住み替えたいか	42
(3) 住環境について	43
① 現在住んでいる住宅にどの程度満足しているか	43
② 住宅周辺の環境についてどの程度満足しているか	44
5. 商業振興について	45

(1) 市内商店の利用頻度について	45
① 利用頻度	45
② 男女別・年齢別	45
③ 地区別	46
(2) 市内のお店を利用する理由	46
男女別・年齢別	47
地区別	48
(3) 市内外問わず買い物で利用する交通手段	48
男女別・年齢別	49
地区別	49
(4) 商業振興についての不満	49
男女別・年齢別	50
地区別	50
(5) 商業振興に必要なこと	51
男女別・年齢別	52
地区別	52
(6) 普段利用するお店について	53
① 生鮮食料品（肉、魚、野菜など）	53
② その他食料品（米、パン、お菓子など）	53
③ 酒・飲料	53
④ 日用品（洗剤、ティッシュなど）	53
⑤ 衣類（下着、服など）	54
⑥ 身の回り品（靴、かばん、アクセサリなど）	54
⑦ 家電製品	54
(7) 商業振興について寄せられた ご意見・ご要望（記述式）	55
個人商店・飲食店などに関する内容	55
お店がほしいなどに関する内容	56
空き店舗などに関する内容	57
人口に関する内容	57
移動手段に関する内容	57
商業振興に関する内容	58
その他に関する内容	58
6. 防災について	59
(1) 防災について	59
① 「赤平市防災マップ（平成 29 年発行）」の認知度	59
② 自分の地域で想定される災害についての認知度	60
③ 自分の地域の「指定避難所」や「指定緊急避難所」についての認知度	61

④ 災害に備えた食糧や生活用品の備蓄の有無について	62
(2) 「総合防災訓練」や「出前講座」について	63
① 「総合防災訓練」や「出前講座」への参加経験.....	63
② 参加したいと思える「総合防災訓練」や「出前講座」の内容	64
(3) 防災行政無線の認知度について	65
「防災行政無線」がどのようなものか	65

調査の概要

本調査は、市全般にわたる住民の意向を把握し、検証をした上で、各施策に結び付けるために必要な基礎資料の収集を目的に実施したものです。

調査対象	令和3年6月1日現在 赤平市に在住する18歳以上の男女1,500人
抽出方法	無作為抽出調査
調査期間	令和3年6月下旬～7月上旬
調査方法	郵送による調査票の配布・回収

調査票の回収結果

調査票の配布数と回収率

配布数 (票)	回収数 (票)	回収率 (%)	有効回収数 (票)	有効回収率 (%)
1,500	568	37.9	568	37.9

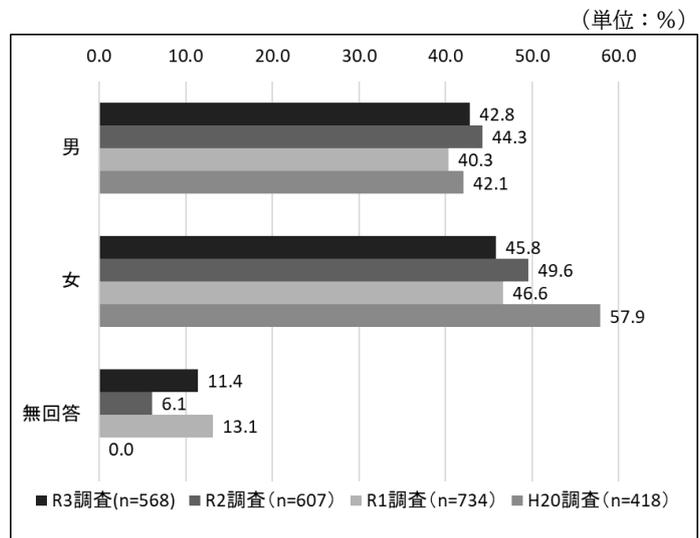
集計結果の表し方

- 調査結果の図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で表現しています。
- 百分率による集計では、回答者数（該当質問においては該当者数）を100%として算出し、本文及び図の数字に関しては、すべて小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表記していますのですべての比率の合計が100%とならないことがあります。また、複数回答の設問では、すべての比率の合計が100%を超えることがあります。
- クロス集計（男女別の集計など）の表については、分析軸の項目の後に（n）として、各項目の回答者数を表記しています。
- クロス集計の分析軸となる項目に「無回答」がある場合は表示していません。よって、「全体」の数値と各項目の和が一致しない場合があります。
- 過去に実施したアンケート調査との比較では、以下の表記を用いています。
 - ◇ 「R1調査」：第6次赤平市総合計画を策定する際に実施したまちづくりアンケート調査結果（18歳以上の市民を対象として実施）
 - ◇ 「R2調査」：前回実施したアンケート調査結果（18歳以上の市民を対象として実施）
 - ◇ 「R3調査」：今回実施したアンケート調査結果（18歳以上の市民を対象として実施）

1. 回答者の属性

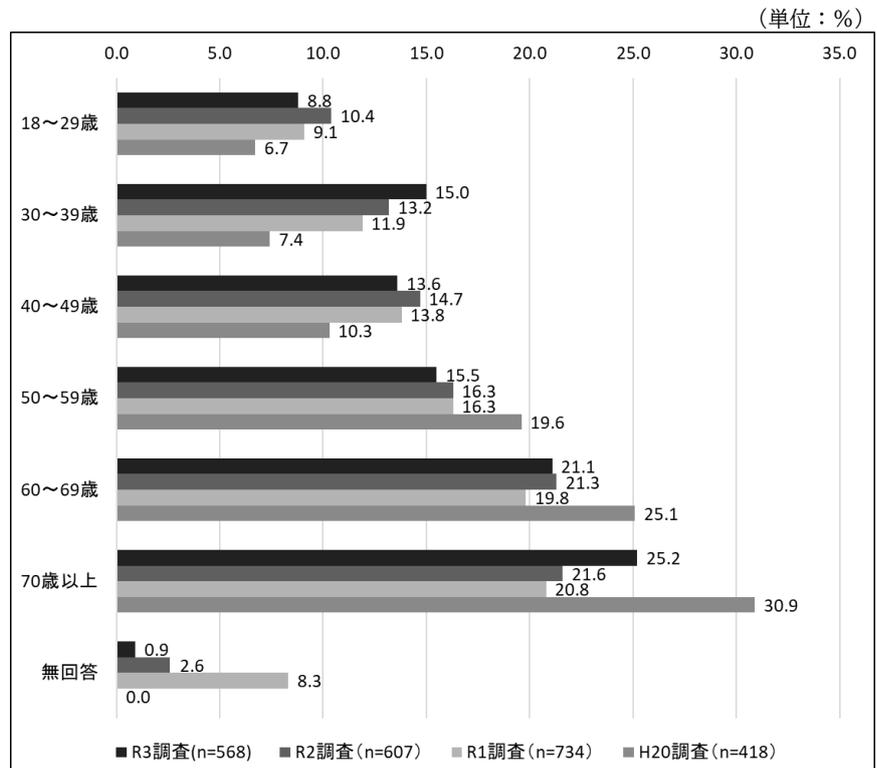
(1) 回答者の性別

性別は、「男性」が42.8%、「女性」が45.8%となっています。



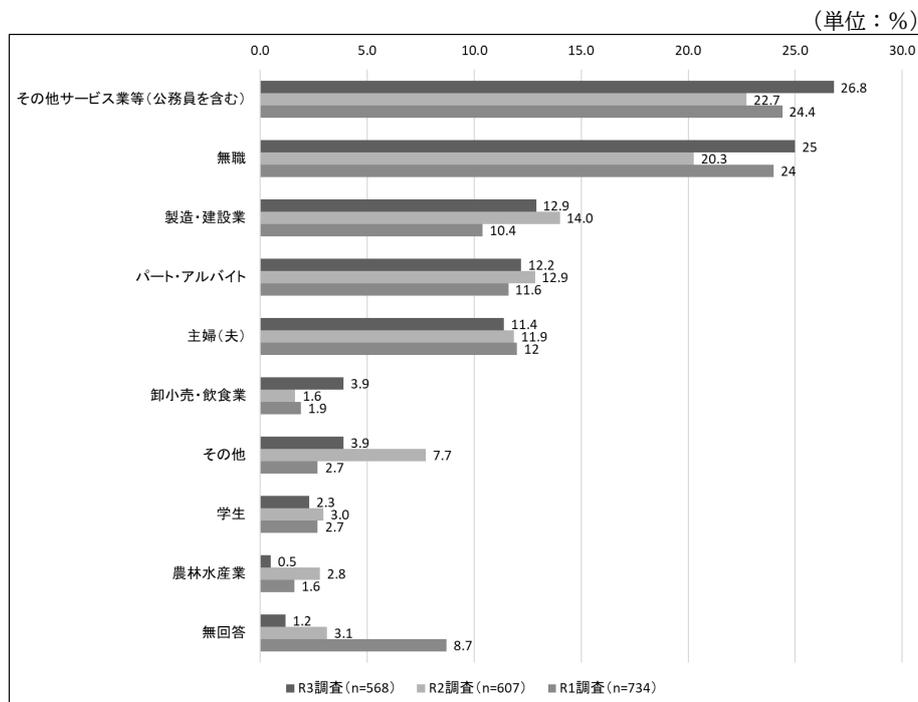
(2) 回答者の年齢

年齢は、「70歳以上」が25.2%で最も多く、次いで「60～69歳」(21.1%)、「50～59歳」(15.5%)となっています。前回調査と比べて「30～39歳」と「70歳以上」の回答者割合が増加し、それ以外はすべて減少しています。



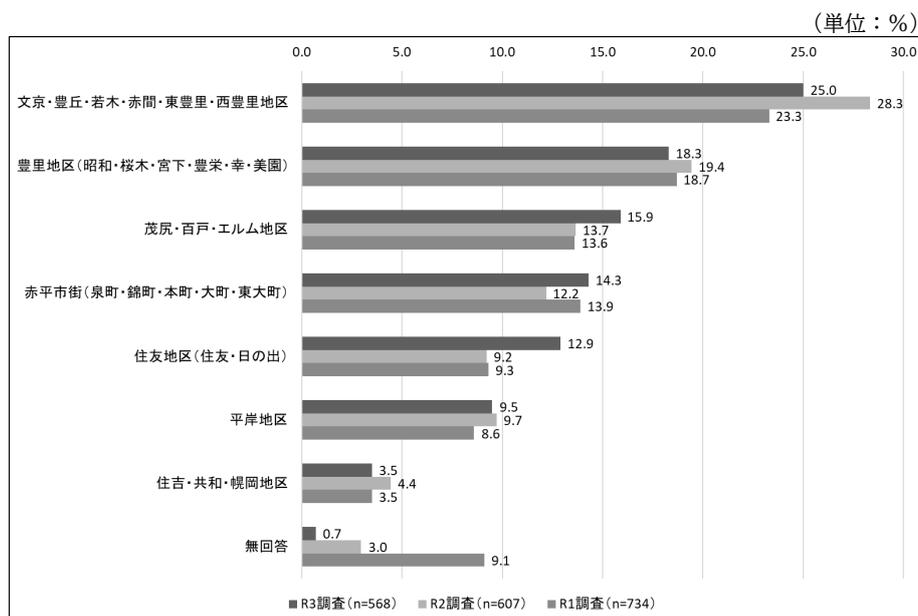
(3) 回答者の職業

職業は、「その他サービス業等（公務員を含む）」が26.8%で最も多く、次いで「無職」（25.0%）、「製造業・建設業」（12.9%）となっています。前回調査と比べ、「その他サービス業等（公務員を含む）」が4.1%、「無職」が4.7%、「卸小売・飲食業」が2.3%増となりました。



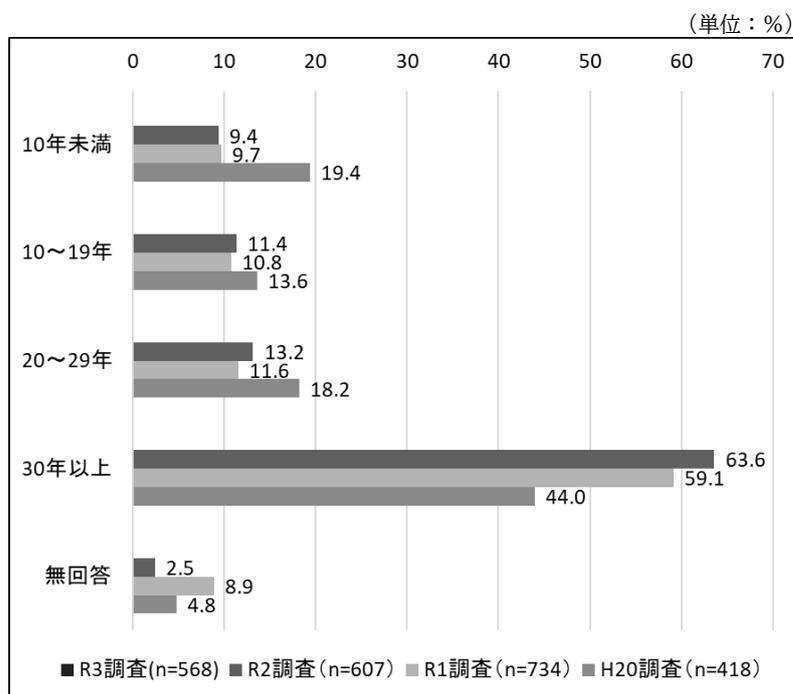
(4) 回答者の居住地区

居住地区は「文京・豊丘・若木・赤間・東豊里・西豊里地区」が25.0%で最も多く、次いで「豊里地区（昭和・桜木・宮下・豊栄・幸・美園）」（18.3%）、「茂尻・百戸・エルム地区」（15.9%）となっています。前回調査と比べ、「文京・豊丘・若木・赤間・東豊里・西豊里地区」が3.3%減少し、「住友地区（住友・日の出）」が3.7%増加しました。



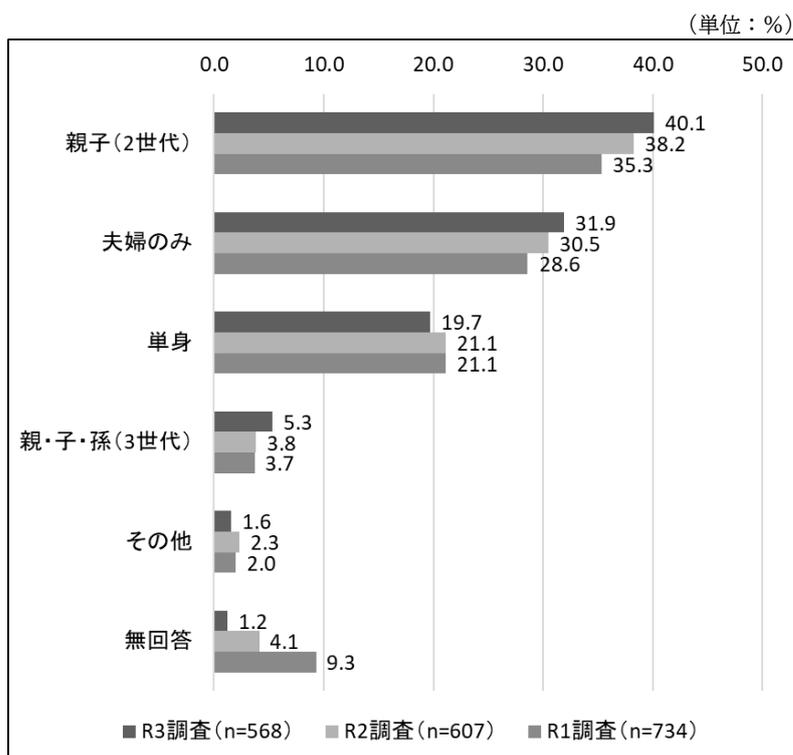
(5) 回答者の居住年数

居住年数は、「30年以上」が63.6%で最も多く、次いで「20～29年」(13.2%)、「10～19年」(11.4%)となっています。



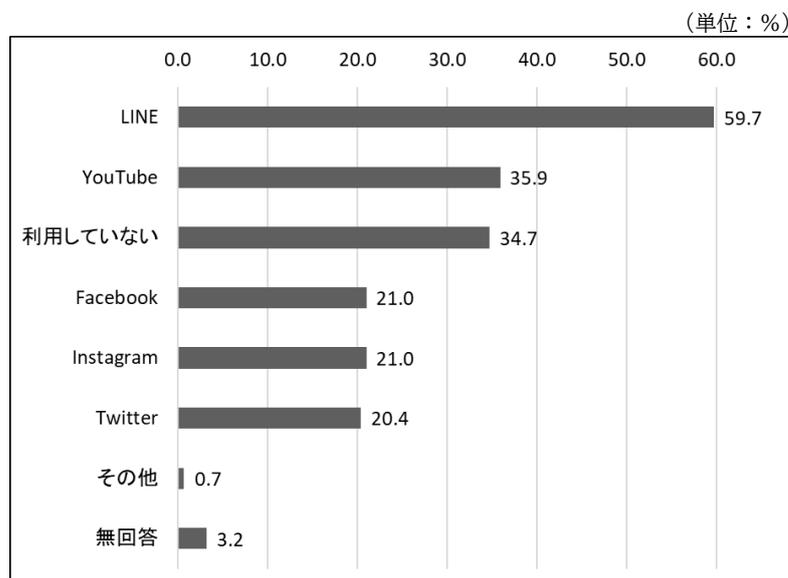
(6) 回答者の世帯構成

世帯構成は、「親子(2世代)」が40.1%と最も多く、次いで「夫婦のみ」(31.9%)、「単身」(19.7%)となっています。



(7) 回答者の SNS 利用状況

SNSの利用状況は、「LINE」が59.7%と最も多く、次いで「YouTube」(35.9%)、「利用していない」(34.7%)となっています。「利用していない」と「無回答」の割合から逆算し、少なくとも1つ以上SNSを利用している方の割合は62.1%となっています。



男女別・年齢別の集計

「70歳以上」の方のみSNSを「利用していない」(74%)が最も多く、それ以外では、男女別・年齢別ともに「LINE」の利用が最も多い状況です。

(単位：%)

	n(単位:人)	LINE	Facebook	Twitter	YouTube	Instagram	利用していない	その他	無回答	
全体	568	59.7	21.0	20.4	35.9	21.0	34.7	0.7	3.2	
性別	男性	243	57.2	22.2	21.8	41.2	21.8	36.2	0.8	2.5
	女性	260	67.3	21.9	23.5	35.8	24.6	29.2	0.8	2.7
年齢	18~29歳	50	98.0	30.0	70.0	74.0	68.0	2.0	2.0	0.0
	30~39歳	85	90.6	47.1	48.2	71.8	42.4	7.1	2.4	1.2
	40~49歳	77	87.0	50.6	35.1	57.1	46.8	10.4	0.0	0.0
	50~59歳	88	65.9	15.9	12.5	29.5	9.1	27.3	0.0	2.3
	60~69歳	120	50.8	5.0	0.8	23.3	2.5	41.7	0.0	5.0
	70歳以上	143	18.2	3.5	0.0	5.6	1.4	74.8	0.7	4.2

居住地区別の集計

居住地区別でみると、すべての地区で「LINE」の利用が最も多くなっています。

(単位：%)

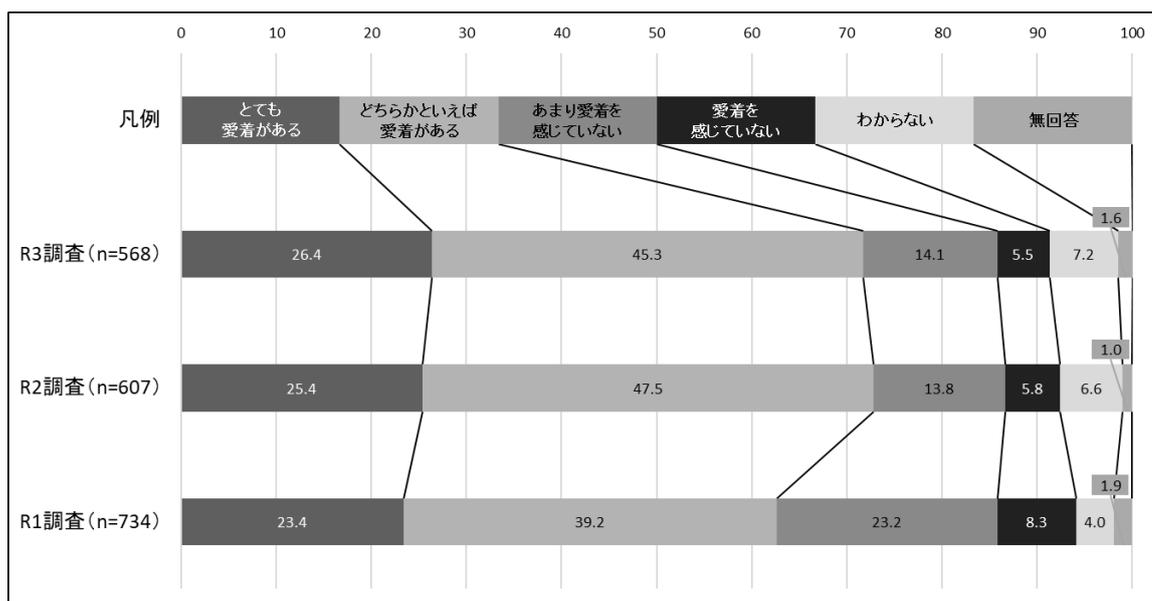
	n(単位:人)	LINE	Facebook	Twitter	YouTube	Instagram	利用していない	その他	無回答	
全体	568	59.7	21.0	20.4	35.9	21.0	34.7	0.7	3.2	
地区別	平岸地区	54	53.7	16.7	14.8	29.6	14.8	40.7	1.9	1.9
	茂尻・百戸・エルム地区	90	51.1	15.6	14.4	25.6	11.1	44.4	0.0	3.3
	住友地区(住友・日の出)	73	46.6	9.6	15.1	23.3	11.0	43.8	0.0	5.5
	赤平市街(泉町・錦町・本町・大町・東大町)	81	75.3	30.9	30.9	53.1	34.6	19.8	0.0	2.5
	豊里地区(昭和・桜木・宮下・豊栄・幸・美園)	104	64.4	22.1	23.1	31.7	24.0	32.7	1.0	1.9
	文京・豊丘・若木・赤間・東豊里・西豊里地区	142	62.0	26.1	22.5	43.7	25.4	32.4	1.4	2.8
	住吉・共和・梶岡地区	20	60.0	15.0	15.0	40.0	20.0	35.0	0.0	0.0

2. 赤平市への愛着度・定住意向

(1) 赤平市への愛着度

赤平市への愛着度は、「とても愛着がある」(26.4%)、「どちらかといえば愛着がある」(45.3%)の合計は71.7%となり、前回調査の72.9%を下回る結果となりました。

(単位：%)



男女別・年齢別の集計

男女別・年齢別でみると、すべての項目で「どちらかといえば愛着がある」が最も多くなりました。おむね年齢が高くなるにつれて愛着度（「とても愛着がある」と「どちらかといえば愛着がある」の合計）が高くなる傾向となりました。また、「18～29歳」の愛着があると答えた割合も72.0%と高い結果となりました。

(単位：%)

	n(単位:人)	とても愛着がある	どちらかといえば愛着がある	あまり愛着を感じていない	愛着を感じていない	わからない	無回答
全体	568	26.4	45.2	14.1	5.5	7.2	1.6
性別							
男性	243	28.8	43.2	11.9	7.4	7.0	1.6
女性	260	23.8	49.2	15.0	4.2	6.9	0.8
年齢							
18～29歳	50	24.0	48.0	12.0	6.0	10.0	0.0
30～39歳	85	22.4	40.0	20.0	10.6	5.9	1.2
40～49歳	77	22.1	44.2	18.2	9.1	6.5	0.0
50～59歳	88	27.3	38.6	14.8	5.7	11.4	2.3
60～69歳	120	20.8	54.2	16.7	1.7	5.8	0.8
70歳以上	143	35.7	46.2	6.3	3.5	5.6	2.8

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

居住地区別の集計

居住地区別にみると、愛着度が最も高くなったのは「住吉・共和・幌岡地区」（75.0％）で、一番低かったのは「茂尻・百戸・エルム地区」（67.8％）となりました。

(単位：％)

	n(単位:人)	とても愛着がある	どちらかといえば愛着がある	あまり愛着を感じていない	愛着を感じていない	わからない	無回答
全体	568	26.4	45.2	14.1	5.5	7.2	1.6
平岸地区	54	20.4	53.7	13.0	1.9	9.3	1.9
茂尻・百戸・エルム地区	90	20.0	47.8	11.1	10.0	8.9	2.2
住友地区(住友・日の出)	73	24.7	46.6	17.8	4.1	5.5	1.4
赤平市街(泉町・錦町・本町・大町・東大町)	81	33.3	39.5	13.6	4.9	7.4	1.2
豊里地区(昭和・桜木・宮下・豊栄・幸・美園)	104	36.5	37.5	15.4	1.9	6.7	1.9
文京・豊丘・若木・赤間・東豊里・西豊里地区	142	25.4	47.2	14.1	7.0	6.3	0.0
住吉・共和・幌岡地区	20	10.0	65.0	5.0	5.0	10.0	5.0

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

居住年数別の集計

居住年数別でみると、「30年以上」赤平市に住む方の愛着度が76.8％と最も高く、「10年未満」が48.4％となりました。

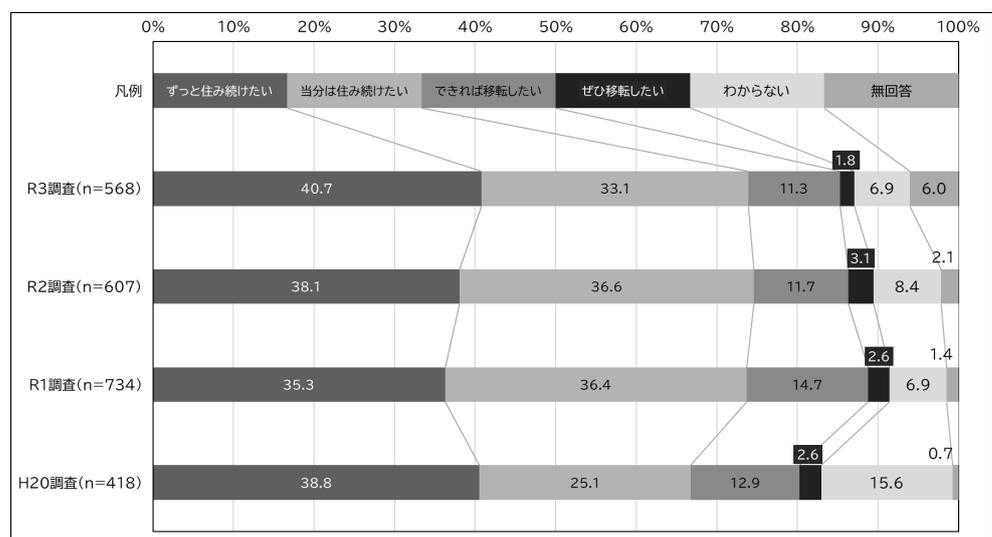
(単位：％)

	n(単位:人)	とても愛着がある	どちらかといえば愛着がある	あまり愛着を感じていない	愛着を感じていない	わからない	無回答
全体	568	26.4	45.2	14.1	5.5	7.2	1.6
10年未満	64	14.1	34.4	23.4	15.6	10.9	1.6
10～19年	52	21.2	40.4	28.8	5.8	3.8	0.0
20～29年	87	18.4	55.2	11.5	8.0	6.9	0.0
30年以上	362	31.2	45.6	11.0	3.0	7.2	1.9

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

(2) 赤平市での定住意向

赤平市での定住意向は、「ずっと住み続けたい」（40.7％）と「当分は住み続けたい」（33.1％）の合計が73.8％で、「できれば移転したい」（11.3％）と「ぜひ移転したい」（1.8％）の合計15.1％を大きく上回りましたが、定住意向は前回調査時より0.9％の減少となりました。



男女別・年齢別の集計

- 男女別でみると、男女間で定住意向に大きな差異はみられませんでした。
- 年齢別でみると、年齢が高くなるにつれて定住意向が強くなり、「18～29歳」は「できれば移転したい」(30.0%)と「ぜひ移転したい」(2.0%)の合計が32.0%となり、3割が赤平からの転出を希望している結果となりました。

(単位：%)

	n(単位：人)	ずっと 住み続けたい	当分は 住み続けたい	できれば 移転したい	ぜひ 移転したい	わからない	無回答	
全体	568	40.7	33.1	11.3	1.8	6.9	6.3	
性別	男性	243	42.8	32.9	11.5	1.6	5.3	5.8
	女性	260	35.4	35.8	11.9	2.3	8.8	5.8
年齢	18～29歳	50	12.0	38.0	30.0	2.0	16.0	2.0
	30～39歳	85	24.7	40.0	16.5	3.5	8.2	7.1
	40～49歳	77	29.9	45.5	14.3	1.3	6.5	2.6
	50～59歳	88	37.5	31.8	12.5	2.3	12.5	3.4
	60～69歳	120	47.5	33.3	6.7	0.8	3.3	8.3
	70歳以上	143	62.9	22.4	3.5	1.4	2.1	7.7

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

居住地区別の集計

- 「ずっと住み続けたい」と「当分は住み続けたい」の合計が最も多かったのは、「住吉・共和・幌岡地区」で80.0%となりました。
- 「できれば移転したい」と「ぜひ移転したい」の合計が最も多くなったのは、愛着度が二番目に低かった「文京・豊丘・若木・赤間・東豊里・西豊里地区」で16.2%となりました。

(単位：%)

	n(単位：人)	ずっと 住み続けたい	当分は 住み続けたい	できれば 移転したい	ぜひ 移転したい	わからない	無回答	
全体	568	40.7	33.1	11.3	1.8	6.9	6.3	
地区別	平岸地区	54	31.5	38.9	11.1	1.9	11.1	5.6
	茂尻・百戸・エルム地区	90	44.4	30.0	8.9	2.2	5.6	8.9
	住友地区(住友・日の出)	73	50.7	24.7	11.0	2.7	4.1	6.8
	赤平市街(泉町・錦町・本町・大町・東大町)	81	34.6	40.7	13.6	2.5	2.5	6.2
	豊里地区(昭和・桜木・宮下・豊栄・幸・美園)	104	47.1	28.8	9.6	0.0	7.7	6.7
	文京・豊丘・若木・赤間・東豊里・西豊里地区	142	34.5	36.6	14.1	2.1	7.7	4.9
	住吉・共和・幌岡地区	20	55.0	25.0	5.0	0.0	15.0	0.0

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

居住年数別の集計

- 居住年数別で見ると、定住意向は「30年以上」が78.7%で最も高く、「10年未満」が次いで68.8%、「20～29年」67.8%、「10～19年」が57.7%と、他の分類より10%も低い結果となりました。
- 移住意向が強かったのは「10～19年」の25.0%で、「10年未満」・「20～29年」が22%ほどとなりました。

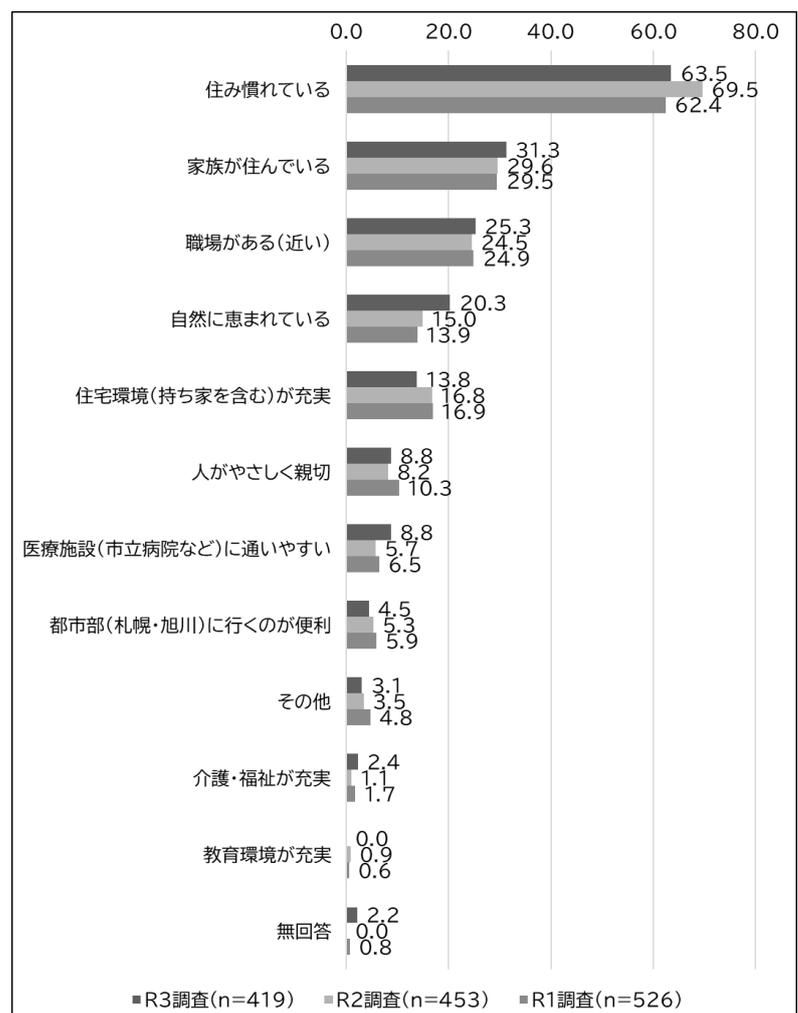
(単位：%)

	n(単位:人)	ずっと 住み続けたい	当分は 住み続けたい	できれば 移転したい	ぜひ 移転したい	わからない	無回答	
全体	568	26.4	45.2	14.1	5.5	7.2	1.6	
居住 年数別	10年未満	64	14.1	54.7	15.6	6.3	7.8	1.6
	10～19年	52	25.0	32.7	23.1	1.9	11.5	5.8
	20～29年	87	32.2	35.6	19.5	2.3	4.6	5.7
	30年以上	362	50.0	28.7	6.6	0.8	6.6	7.2

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

(3) 赤平市に住み続けたい理由

定住意向がある方の赤平市に住み続けたい主な理由は、「住み慣れている」が63.5%で突出して多く、次いで「家族が住んでいる」(31.3%)、「職場がある(近い)」(25.3%)となっています。



その他の内容（多寡問わず掲載）

- ここに住むしかない。
- 仕事のため赤平にいるしか選択肢がない。
- 助成制度があるから。
- 年だから仕方なく。
- 地震が少ないから。
- 知り合いが多いから。
- 家を買ったから。
- 子を転校させたくないから。
- 夜の灯りが高い場所から見るときれいだから。
- 病院代などが子供はかからないし、安全だから。
- 今は両親がいるので移転しないが、将来的には移転を考える。
- 他に移転したい先が今のところない。

男女別・年齢別の集計

- 男女別で見ると、ともに「住み慣れている」が最も多く、どちらも約6割となっています。
- 年齢別で見ると、「18～29歳」以外のすべての年齢で「住み慣れている」が最も多くなっていますが、年齢が低くなるにつれてその割合は減少傾向にあります。
- 「18～29歳」は、「家族が住んでいる」が57.7%と高い結果になりました。

(単位：%)

	n(単位:人)	自然に 恵まれている	人がやさしく 親切	住み慣れている	家族が住んでいる	職場がある(近い)	住宅環境 (持ち家を含む) が充実
全体	431	19.7	8.4	61.7	30.4	24.4	13.5
性別							
男性	189	25.4	10.1	61.4	23.8	27.0	12.7
女性	191	17.3	4.7	59.2	38.2	23.0	12.6
年齢							
18～29歳	26	23.1	7.7	38.5	57.7	34.6	0.0
30～39歳	58	24.1	5.2	51.7	29.3	37.9	6.9
40～49歳	60	16.7	5.0	48.3	43.3	45.0	13.3
50～59歳	61	19.7	9.8	59.0	34.4	32.8	18.0
60～69歳	99	21.2	9.1	64.6	25.3	23.2	16.2
70歳以上	126	16.7	9.5	77.0	21.4	3.2	15.1
	n(単位:人)	教育環境が充実	介護・福祉が充実	医療施設 (市立病院など) に通いやすい	都市部(札幌・旭川) に行くのが便利	その他	
全体	431	0.0	2.3	8.6	4.4	2.8	
性別							
男性	189	0.0	2.6	9.0	3.7	4.2	
女性	191	0.0	1.6	7.9	5.8	2.1	
年齢							
18～29歳	26	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	
30～39歳	58	0.0	0.0	3.4	6.9	6.9	
40～49歳	60	0.0	1.7	1.7	5.0	5.0	
50～59歳	61	0.0	0.0	3.3	4.9	0.0	
60～69歳	99	0.0	1.0	7.1	5.1	2.0	
70歳以上	126	0.0	6.3	19.8	1.6	2.4	

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

居住地区別の集計

居住地区別でみると、すべての地区で「住み慣れている」が最も多くなっていますが、「赤平市街（泉町・錦町・本町・大町・東大町）」が52.5%と他の地区と比べて少なくなっています。

(単位：%)

	n(単位:人)	自然に 恵まれている	人がやさしく 親切	住み慣れている	家族が住んでいる	職場がある(近い)	住宅環境 (持ち家を含む) が充実
全体	431	19.7	8.4	61.7	30.4	24.4	13.5
平岸地区	38	15.8	13.2	57.9	18.4	31.6	18.4
茂尻・百戸・エルム地区	71	15.5	5.6	67.6	35.2	12.7	16.9
住友地区(住友・日の出)	57	15.8	3.5	77.2	28.1	14.0	7.0
赤平市街(泉町・錦町・ 本町・大町・東大町)	61	24.6	13.1	52.5	34.4	39.3	8.2
豊里地区(昭和・桜木・ 宮下・豊栄・幸・美園)	81	21.0	6.2	61.7	28.4	28.4	19.8
文京・豊丘・若木・赤間・ 東豊里・西豊里地区	105	18.1	11.4	56.2	30.5	24.8	12.4
住吉・共和・幌岡地区	16	50.0	0.0	62.5	37.5	18.8	6.3
	n(単位:人)	教育環境が充実	介護・福祉が充実	医療施設 (市立病院など) に通いやすい	都市部(札幌・旭川) に行くのが便利	その他	
全体	431	0.0	2.3	8.6	4.4	2.8	
平岸地区	38	0.0	2.6	2.6	7.9	0.0	
茂尻・百戸・エルム地区	71	0.0	1.4	11.3	8.5	2.8	
住友地区(住友・日の出)	57	0.0	3.5	12.3	1.8	1.8	
赤平市街(泉町・錦町・ 本町・大町・東大町)	61	0.0	1.6	6.6	3.3	1.6	
豊里地区(昭和・桜木・ 宮下・豊栄・幸・美園)	81	0.0	2.5	6.2	3.7	1.2	
文京・豊丘・若木・赤間・ 東豊里・西豊里地区	105	0.0	1.9	10.5	3.8	5.7	
住吉・共和・幌岡地区	16	0.0	6.3	6.3	0.0	0.0	

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

居住年数別の集計

居住年数別でみると、「10年未満」は「職場がある(近い)」が40.9%で、他は「住み慣れている」が最も多くなっており、「10～19年」・「20～29年」は「家族が住んでいる」も同率の理由となっています。

(単位：%)

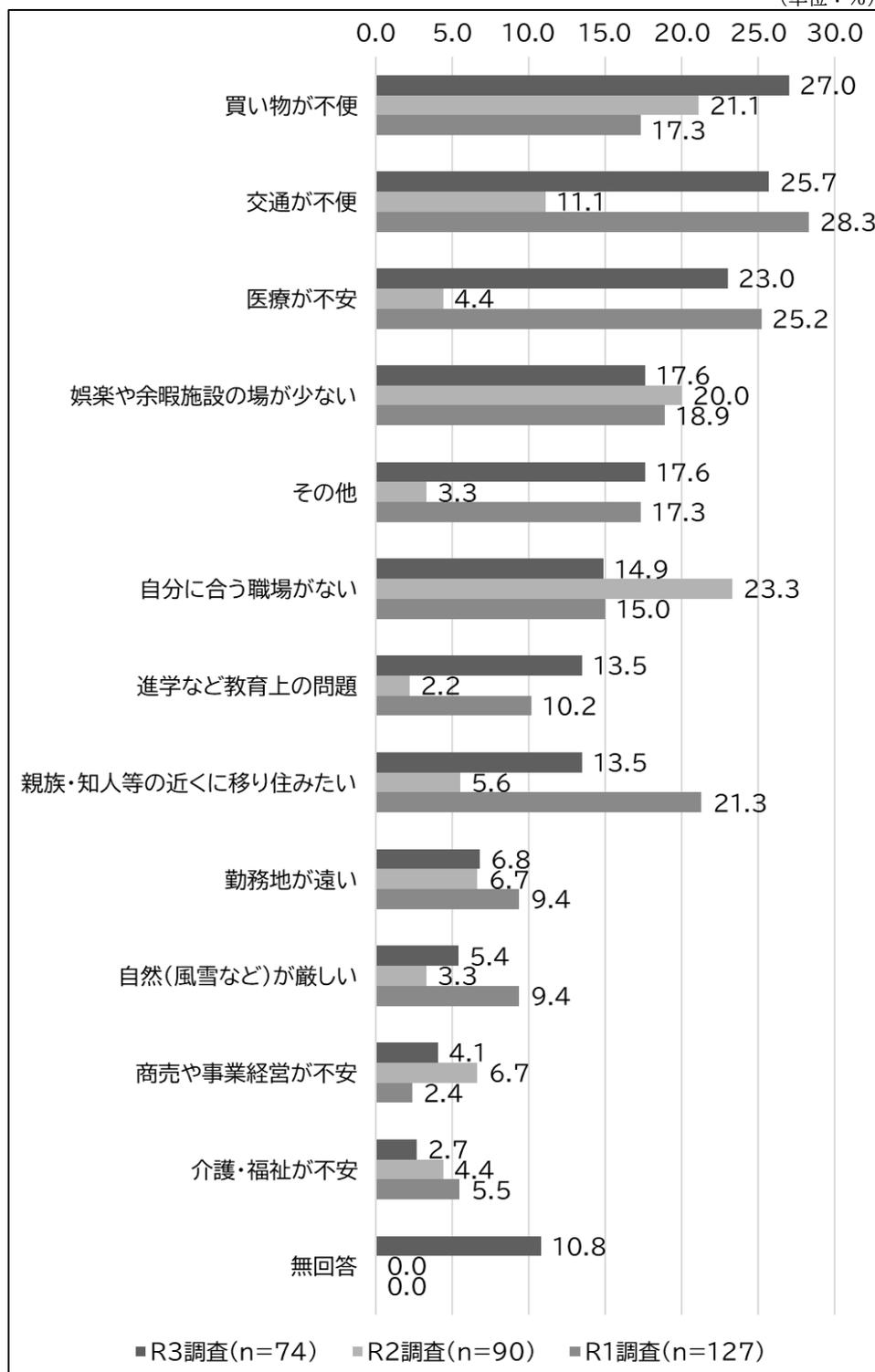
	n(単位:人)	自然に 恵まれている	人がやさしく 親切	住み慣れている	家族が住んでいる	職場がある(近い)	住宅環境 (持ち家を含む) が充実
全体	431	19.7	8.4	61.7	30.4	24.4	13.5
居住 年数別	10年未満	44	31.8	11.4	13.6	34.1	40.9
10～19年	32	28.1	3.1	43.8	43.8	18.8	12.5
20～29年	60	20.0	6.7	48.3	48.3	40.0	6.7
30年以上	294	17.0	8.8	73.8	24.5	19.0	15.0
	n(単位:人)	教育環境が充実	介護・福祉が充実	医療施設 (市立病院など) に通いやすい	都市部(札幌・旭川) に行くのが便利	その他	
全体	431	0.0	2.3	8.6	4.4	2.8	
居住 年数別	10年未満	44	0.0	2.3	0.0	6.8	6.8
10～19年	32	0.0	3.1	6.3	3.1	3.1	
20～29年	60	0.0	1.7	5.0	1.7	3.3	
30年以上	294	0.0	2.4	10.9	4.8	2.0	

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

(4) 赤平市から移転したいと思う理由

移転意向がある方の赤平市から移転したい主な理由は、「医療が不安だから」が47.8%で最も多く、次いで「買い物が不便だから」(30.0%)、「交通が不便だから」(27.8%)となっています。

(単位：%)



その他の内容（多寡問わず掲載）

- 大人も子どもも仲良しグループができていて、よそからの人を受け入れてくれず友人ができない。
- 虫が多く、年中家の中に何かしらの虫が出る。
- ペットを受け入れる住宅がない。ペットが遊べる場所もない。
- 何事も継続する意思が足りない。
- 市民を大事にしているように思えないから。
- 家にお風呂がないと不便。
- 市職員に不満がある。
- アパートが少なすぎてせっかく助成金や子どもへの支援があり、住みやすいのに道営・市営しか新しいのが建たない。それでは市外に行くしかない。
- 都会が遠いから。
- 1人暮らしをしてみたい。
- 介護保険料が高い。
- 単身赴任だから。
- 太陽光発電所が家の裏にあるから。

男女別・年齢別の集計

- 男女別でみると、男性が「医療が不安」が最も高く、女性は「交通が不便」が高くなっています。
- 年齢別では、「18～29歳」が「自分に合う職場がない」と「交通が不便」がともに40%と高くなっています。「40～49歳」が「進学など教育上の問題」が最も多く、「30～39歳」と「70歳以上」の方は「買い物が不便」が最も多くなっています。50～69歳までの方は「医療が不安」と今回の調査では全体的にばらつきが出る結果となりました。

（単位：％）

	n(単位:人)	自分に合う 職場がない	商売や 事業経営が不安	勤務地が遠い	交通が不便	買い物が不便	進学など 教育上の問題
全体	72	15.3	4.2	6.9	26.4	27.8	13.9
性別							
男性	31	22.6	6.5	6.5	16.1	22.6	12.9
女性	36	11.1	2.8	8.3	38.9	33.3	16.7
年齢							
18～29歳	15	40.0	6.7	6.7	40.0	20.0	26.7
30～39歳	17	17.6	5.9	5.9	23.5	35.3	11.8
40～49歳	11	9.1	0.0	9.1	9.1	18.2	36.4
50～59歳	13	7.7	0.0	7.7	23.1	15.4	0.0
60～69歳	9	0.0	11.1	11.1	22.2	22.2	0.0
70歳以上	7	0.0	0.0	0.0	42.9	71.4	0.0
	n(単位:人)	医療が不安	介護・福祉が不安	娯楽や余暇施設の 場が少ない	自然(風雪など)が 厳しい	親族・知人等の 近くに移り住みた い	その他
全体	72	23.6	2.8	18.1	5.6	13.9	16.7
性別							
男性	31	25.8	6.5	22.6	6.5	12.9	9.7
女性	36	19.4	0.0	8.3	2.8	13.9	22.2
年齢							
18～29歳	15	0.0	0.0	6.7	0.0	6.7	20.0
30～39歳	17	23.5	0.0	17.6	11.8	11.8	17.6
40～49歳	11	18.2	9.1	27.3	0.0	18.2	9.1
50～59歳	13	38.5	7.7	23.1	0.0	7.7	30.8
60～69歳	9	44.4	0.0	22.2	11.1	44.4	11.1
70歳以上	7	28.6	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

居住地区別の集計

移転したいと答えた方を居住地区別で見ると、赤平市街を境に東側の地区で買い物や医療に不満を持っている方が多い傾向にある結果となりました。(複数回答のため合計が100%を超えています。)

(単位：%)

	n(単位:人)	自分に合う職場がない	商売や事業経営が不安	勤務地が遠い	交通が不便	買い物が不便	進学など教育上の問題
全体	72	14.9	15.9	16.9	17.9	18.9	19.9
地区別							
平岸地区	7	0.0	0.0	0.0	14.3	42.9	28.6
茂尻・百戸・エルム地区	9	11.1	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0
住友地区(住友・日の出)	10	30.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0
赤平市街(泉町・錦町・本町・大町・東大町)	13	23.1	15.4	0.0	30.8	15.4	15.4
豊里地区(昭和・桜木・宮下・豊栄・幸・美園)	10	20.0	10.0	10.0	40.0	20.0	30.0
文京・豊丘・若木・赤間・東豊里・西豊里地区	22	9.1	0.0	9.1	31.8	36.4	13.6
住吉・共和・幌岡地区	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	n(単位:人)	医療が不安	介護・福祉が不安	娯楽や余暇施設の場が少ない	自然(風雪など)が厳しい	親族・知人等の近くに寄り住みたい	その他
全体	72	20.9	21.9	22.9	23.9	24.9	25.9
地区別							
平岸地区	7	42.9	0.0	28.6	0.0	14.3	0.0
茂尻・百戸・エルム地区	9	33.3	0.0	22.2	0.0	11.1	22.2
住友地区(住友・日の出)	10	30.0	10.0	30.0	10.0	20.0	20.0
赤平市街(泉町・錦町・本町・大町・東大町)	13	7.7	0.0	23.1	0.0	15.4	23.1
豊里地区(昭和・桜木・宮下・豊栄・幸・美園)	10	20.0	10.0	0.0	0.0	0.0	10.0
文京・豊丘・若木・赤間・東豊里・西豊里地区	22	22.7	0.0	13.6	13.6	18.2	13.6
住吉・共和・幌岡地区	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

居住年数別の集計

居住年数別で見ると、「30年以上」の方が「医療が不安だから」が最も多く、10～29年までの方は「交通が不便」だと感じている方が多くなりました。「10～19年」の方については、「進学など教育上の問題」も同じく多い結果となっています。

(単位：%)

	n(単位:人)	自分に合う職場がない	商売や事業経営が不安	勤務地が遠い	交通が不便	買い物が不便	進学など教育上の問題
全体	72	14.9	15.9	16.9	17.9	18.9	19.9
居住年数別							
10年未満	14	7.1	7.1	14.3	14.3	28.6	21.4
10～19年	13	23.1	7.7	0.0	30.8	23.1	30.8
20～29年	18	16.7	5.6	0.0	38.9	22.2	11.1
30年以上	26	15.4	0.0	11.5	19.2	30.8	3.8
	n(単位:人)	医療が不安	介護・福祉が不安	娯楽や余暇施設の場が少ない	自然(風雪など)が厳しい	親族・知人等の近くに寄り住みたい	その他
全体	72	20.9	21.9	22.9	23.9	24.9	25.9
居住年数別							
10年未満	14	7.1	0.0	21.4	0.0	7.1	35.7
10～19年	13	15.4	0.0	15.4	0.0	15.4	0.0
20～29年	18	22.2	0.0	22.2	5.6	22.2	22.2
30年以上	26	38.5	7.7	15.4	11.5	11.5	11.5

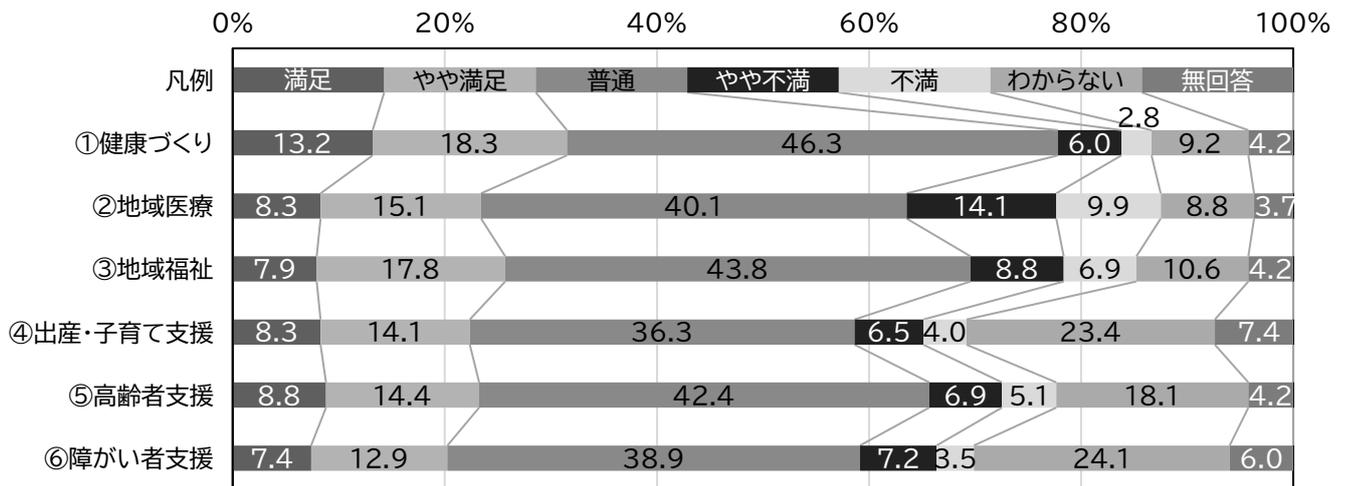
※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

3. 赤平市の取組について

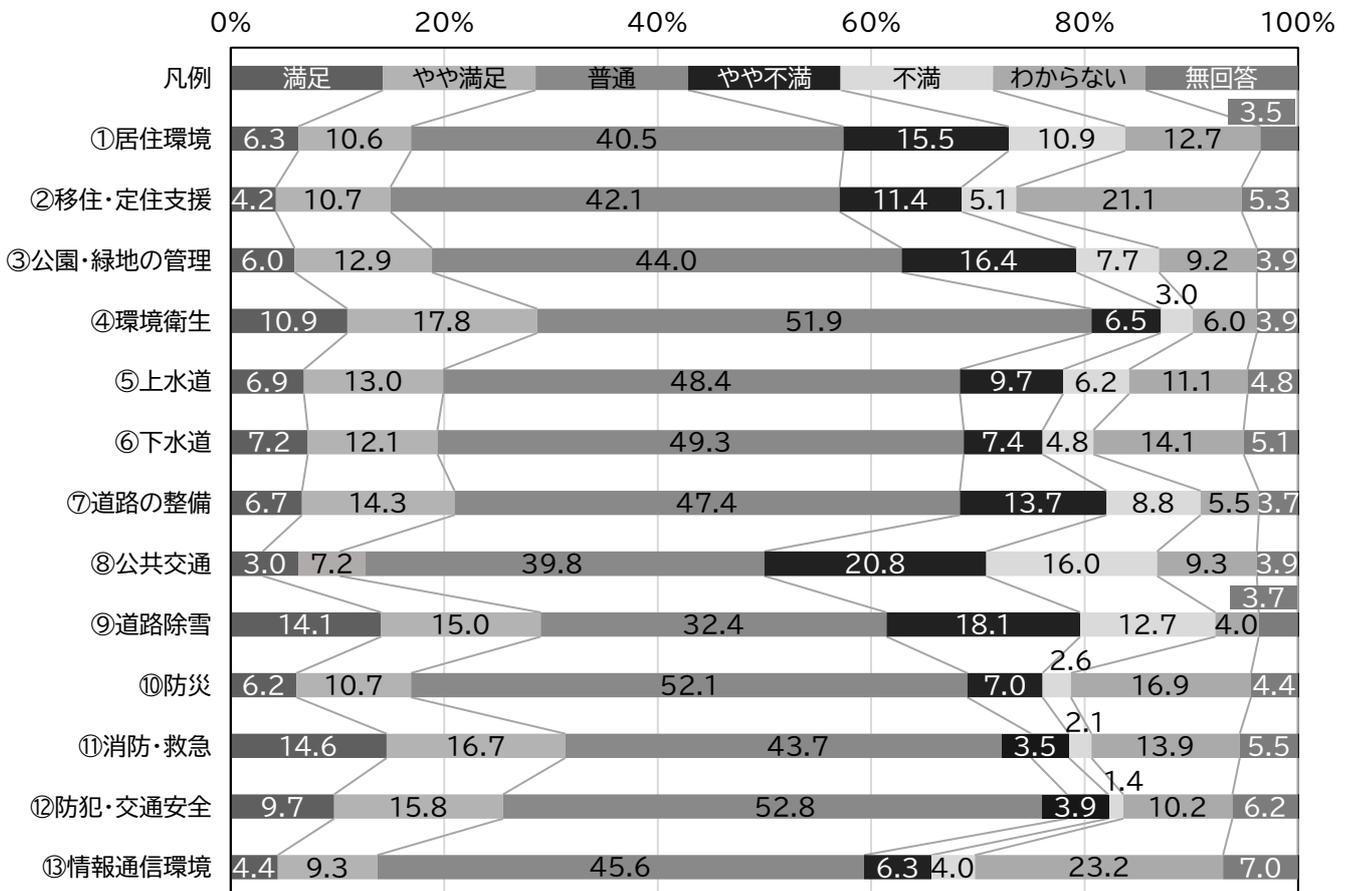
(1) 現状の満足度

赤平市の取組について現状どの程度満足しているのか聞いた結果を 100 分率で示します。

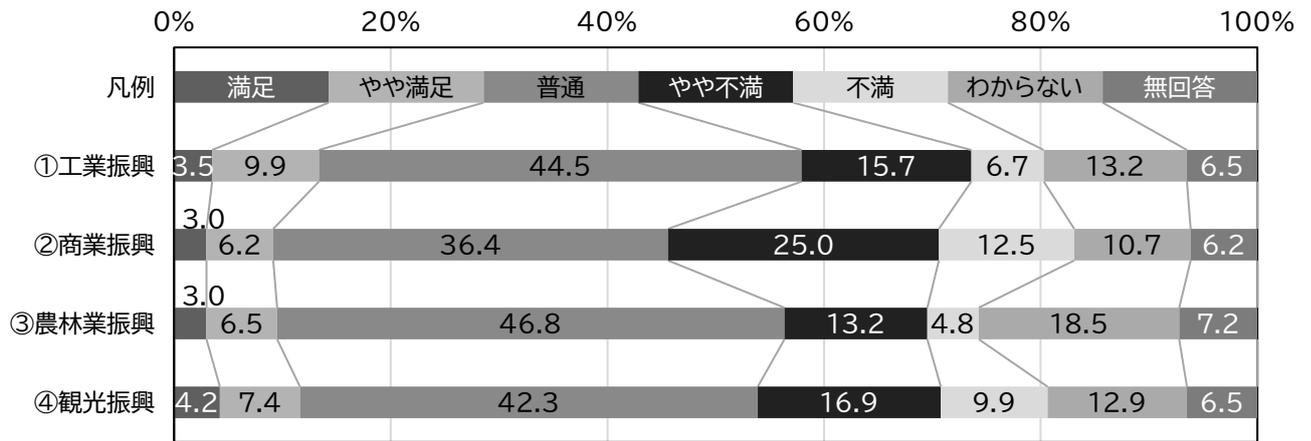
基本目標 1 健やかな暮らしをともに支え合うまち



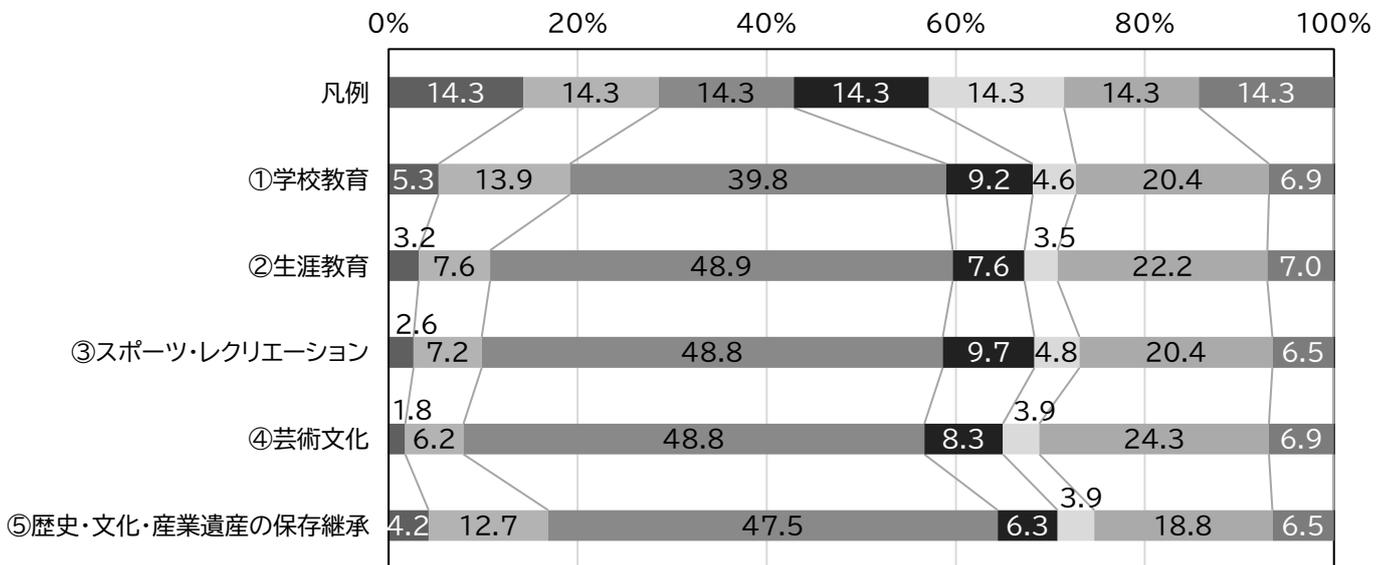
基本目標 2 安全・安心で快適に暮らせるまち



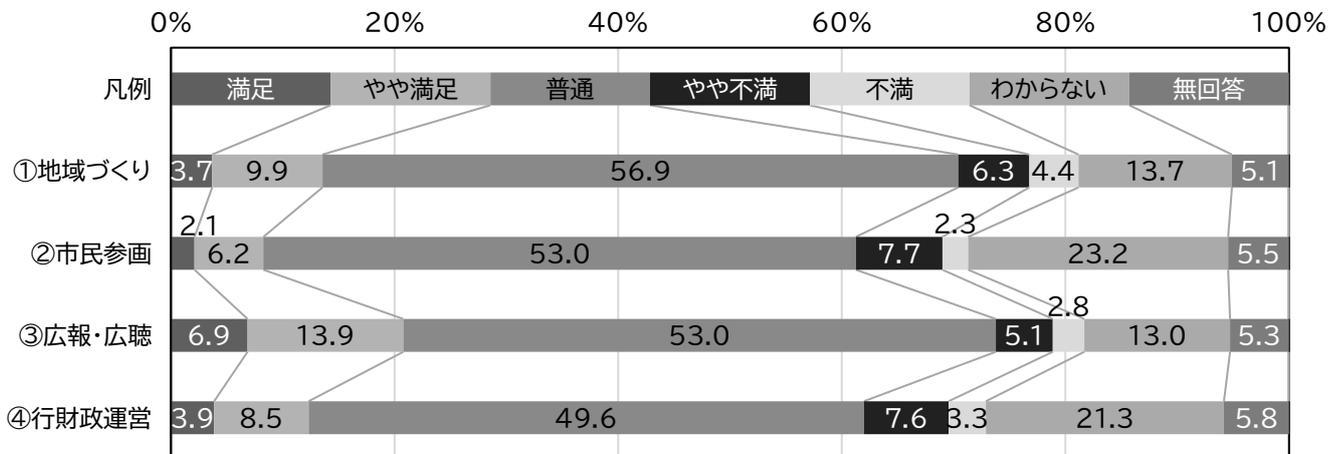
基本目標3 活力に満ちた魅力あふれるまち



基本目標4 ともに学び合い豊かな心を育むまち



基本目標5 ふれあいと交流で創る協働のまち



満足度が高い施策項目

- 各施策について、「満足」・「やや満足」と回答のあった上位10項目は下表のとおりとなっています。
- 最も合計値の高かった施策は「健康づくり」の31.5%で、次いで「消防・救急」(31.3%)、「道路除雪」(29.0%)となりました。

(単位：%)

順位	満足度の高い10項目	満足 (A)	やや満足 (B)	満足の合計 (A)+(B)
1	健康づくり	13.2	18.3	31.5
2	消防・救急	14.6	16.7	31.3
3	道路除雪	14.1	15.0	29.0
4	環境衛生	10.9	17.8	28.7
5	地域福祉	7.9	17.8	25.7
6	防犯・交通安全	9.7	15.8	25.5
7	地域医療	8.3	15.1	23.4
8	高齢者支援	8.8	14.4	23.2
9	出産・子育て支援	8.3	14.1	22.4
10	道路の整備	6.7	14.3	21.0

過去調査との比較

順位	R1	順位	R2
1	ごみ処理・リサイクル等(環境衛生)	1	道路除雪
2	消防・救急	2	消防・救急
3	雪対策(道路除雪)	3	環境衛生
4	交通安全(防犯・交通安全)	4	防犯・交通安全
5	上水道の整備(上水道)	5	健康づくり
6	保健サービス提供(健康づくり)	6	地域福祉
7	下水道の整備(下水道)	7	広報・広聴
8	道路の整備(道路の整備)	8	道路の整備
9	し尿処理(環境衛生に統合)	9	上水道
10	子育て支援(出産・子育て支援)	10	下水道

満足度が低い（不満度の高い）施策項目

- 各施策について、「やや不満」・「不満」と回答のあった上位10項目（満足度下位10項目）は下表のとおりとなっています。
- 最も合計値の高かった施策は「商業振興」の37.5%で、次いで「公共交通」（36.8%）、「道路除雪」（30.8%）となりました。

（単位：％）

順位	不満度の高い10項目	やや不満 (C)	不満 (D)	不満の合計 (C)+(D)
1	商業振興	25.0	12.5	37.5
2	公共交通	20.8	16.0	36.8
3	道路除雪	18.1	12.7	30.8
4	観光振興	16.9	9.9	26.8
5	居住環境	15.5	10.9	26.4
6	公園・緑地の管理	16.4	7.7	24.1
7	地域医療	14.1	9.9	23.9
8	道路の整備	13.7	8.8	22.5
9	工業振興	15.7	6.7	22.4
10	農林業振興	13.2	4.8	18.0

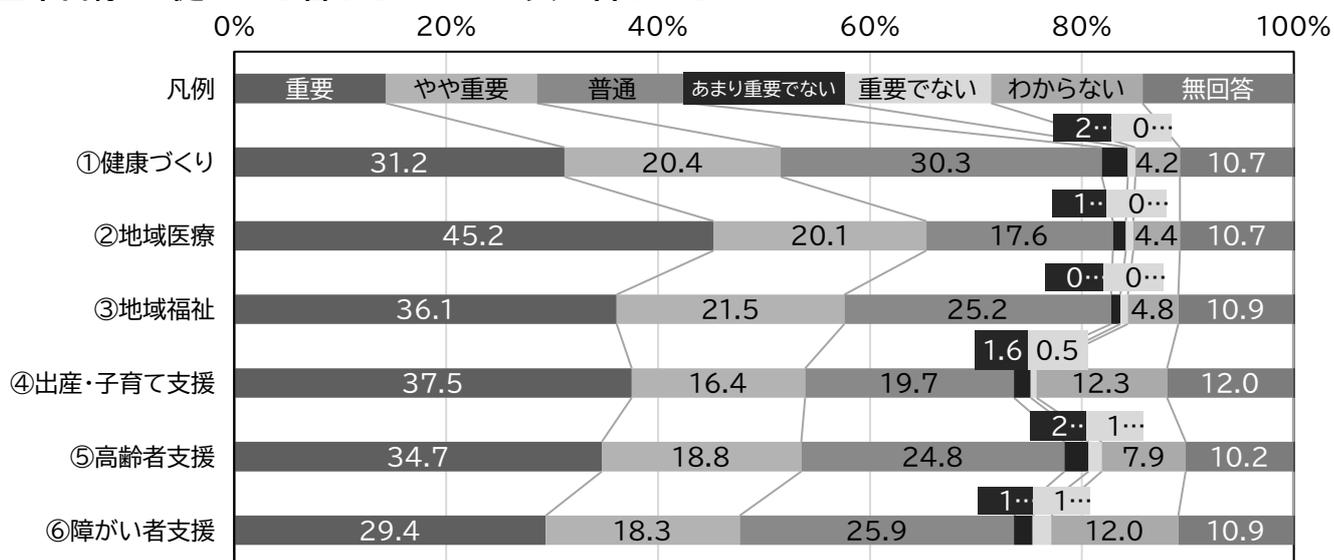
過去調査との比較

順位	R1	順位	R2
1	商業振興	1	商業振興
2	公共交通の確保(公共交通)	2	地域医療
3	地域医療	3	公共交通
4	観光振興	4	居住環境
5	雪対策(道路除雪)	5	観光振興
6	土地利用	6	道路の整備
7	勤労者福祉	7	道路除雪
8	工業振興	8	工業振興
9	公園・緑地・河畔の整備(公園・緑地の管理)	9	公園・緑地の管理
10	定住促進対策(移住・定住支援)	10	スポーツ・レクリエーション

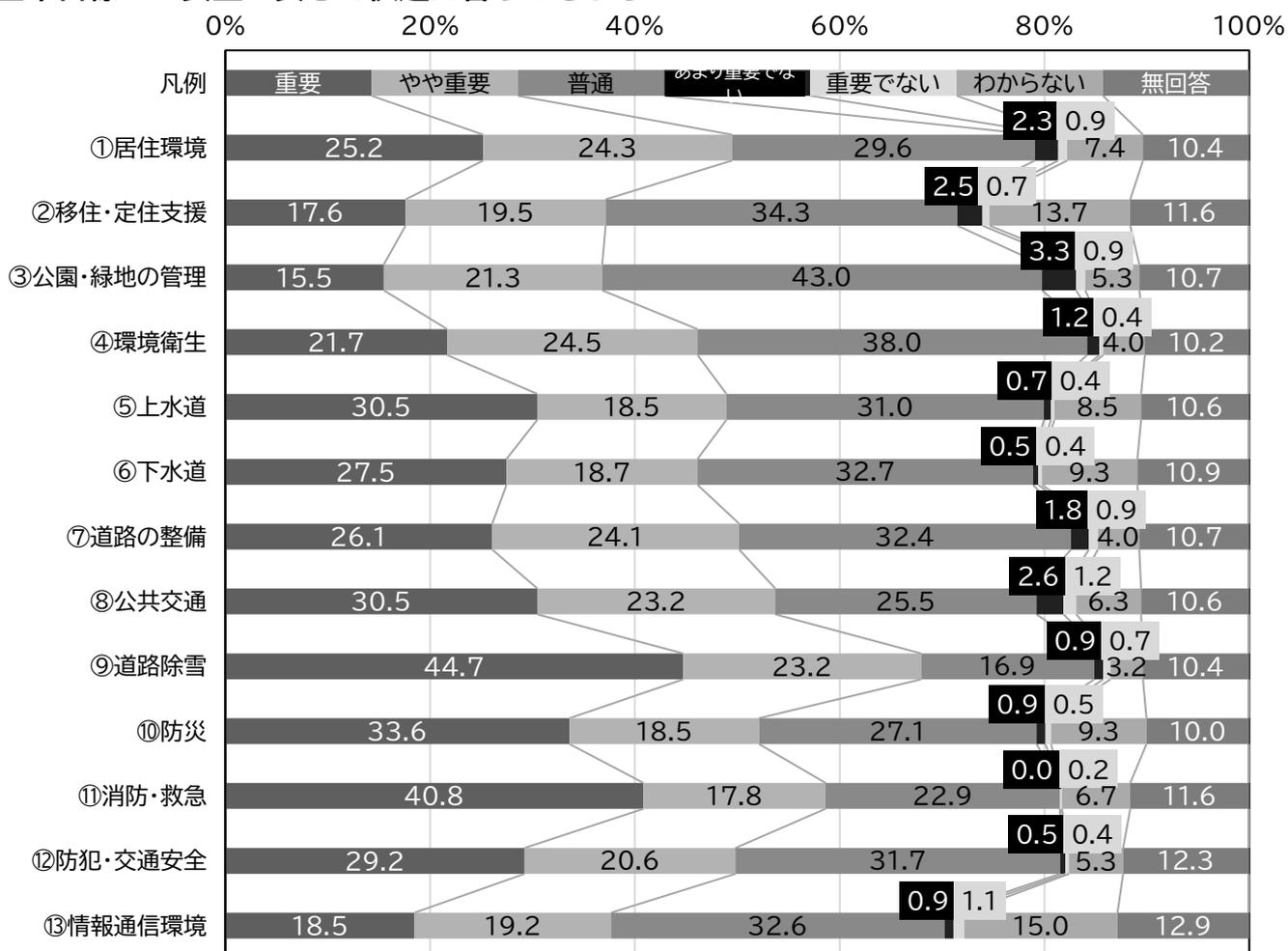
(2) 今後の重要度

赤平市の取組について今後の重要度について聞いた結果を 100 分率で示します。

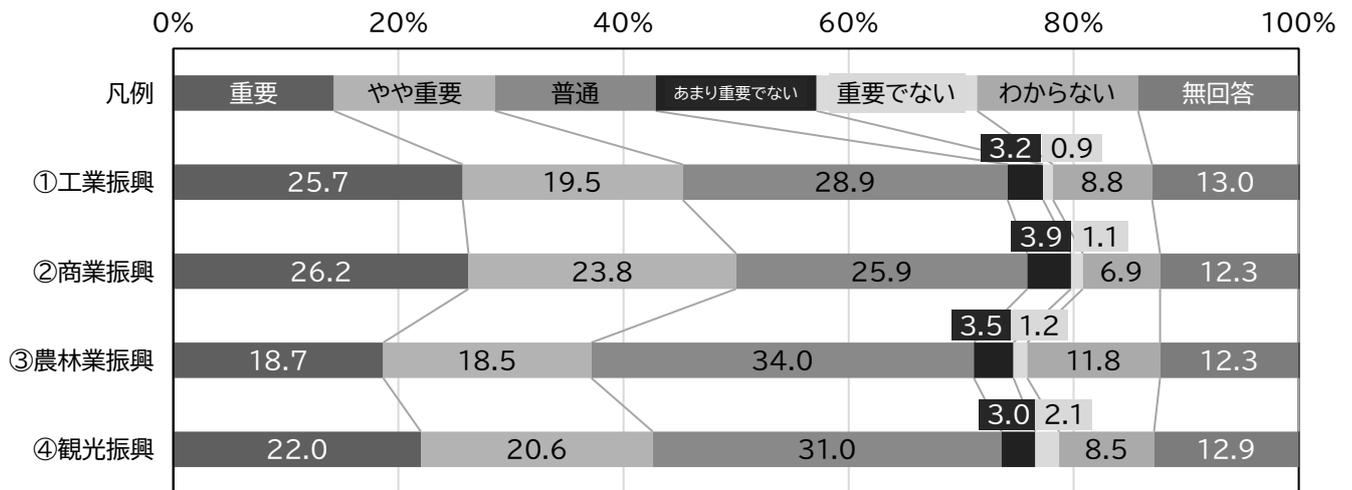
基本目標 1 健やかな暮らしをともに支え合うまち



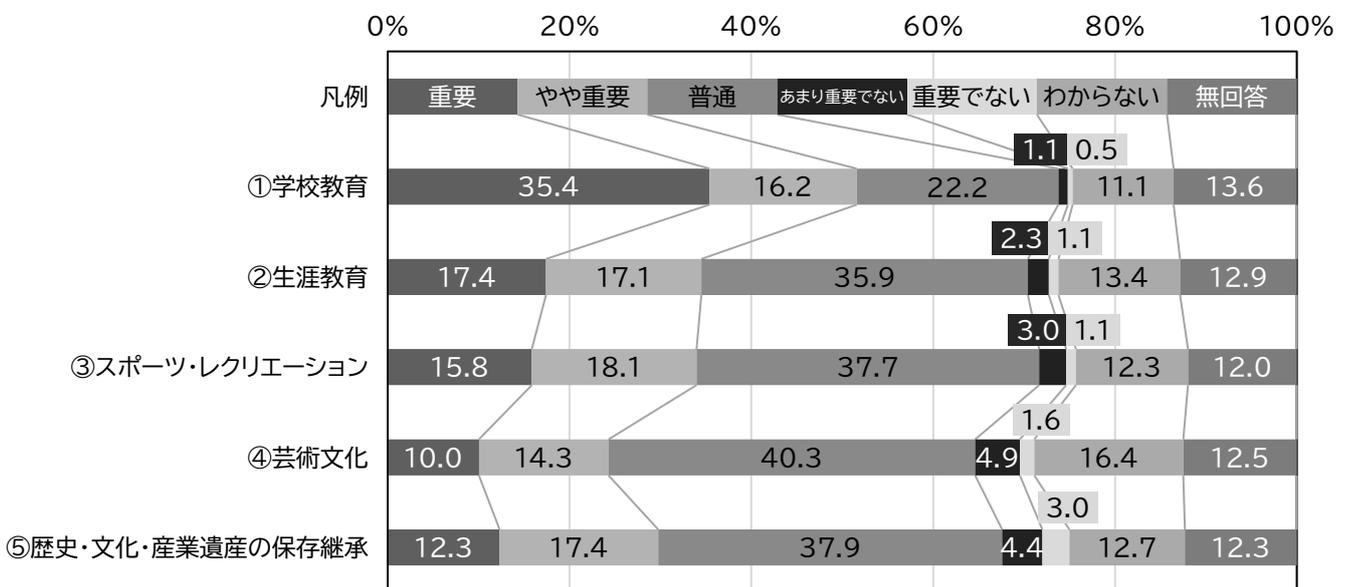
基本目標 2 安全・安心で快適に暮らせるまち



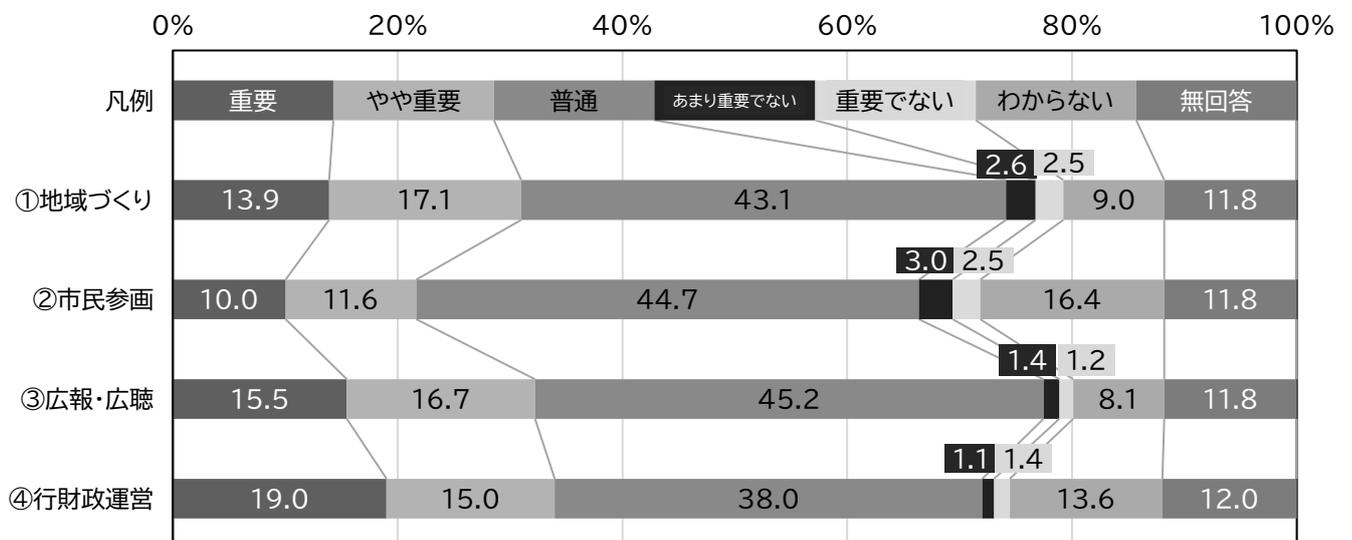
基本目標3 活力に満ちた魅力あふれるまち



基本目標4 ともに学び合い豊かな心を育むまち



基本目標5 ふれあいと交流で創る協働のまち



重要度が高い施策項目

- 各施策について、「重要」・「やや重要」と回答のあった上位10項目は下表のとおりとなっています。
- 最も合計値の高かった施策は「道路除雪」の68.0%で、次いで「地域医療」(65.3%)、「消防・救急」(58.6%)となりました。

(単位：%)

順位	重要度の高い10項目	重要 (E)	やや重要 (F)	重要の合計 (E)+(F)
1	道路除雪	44.7	23.2	68.0
2	地域医療	45.2	20.1	65.3
3	消防・救急	40.8	17.8	58.6
4	地域福祉	36.1	21.5	57.6
5	出産・子育て支援	37.5	16.4	53.9
6	公共交通	30.5	23.2	53.7
7	高齢者支援	34.7	18.8	53.5
8	防災	33.6	18.5	52.1
9	健康づくり	31.2	20.4	51.6
10	学校教育	35.4	16.2	51.6

過去調査との比較

順位	R1	順位	R2
1	地域医療	1	地域医療
2	雪対策(道路除雪)	2	道路除雪
3	防災	3	消防・救急
4	公共交通の確保(公共交通)	4	出産・子育て支援
5	消防・救急	5	高齢者支援
6	高齢者支援	6	地域福祉
7	上水道の整備(上水道)	7	公共交通
8	防犯(防犯・交通安全)	8	商業振興
9	保健サービス提供	9	健康づくり
10	子育て支援	10	防災

重要度が低い施策項目

- 各施策について、「あまり重要でない」・「重要でない」と回答のあった上位10項目（重要度下位10項目）は下表のとおりとなっています。
- 最も合計値の高かった施策は「歴史・文化・産業遺産の保存継承」の7.4%で、次いで「芸術・文化」（6.5%）、「市民参画」（5.5%）となりました。

（単位：％）

順位	重要度が低い10項目	あまり重要でない (G)	重要でない (H)	重要でない合計 (G)+(H)
1	歴史・文化・産業遺産の保存継承	4.4	3.0	7.4
2	芸術文化	4.9	1.6	6.5
3	市民参画	3.0	2.5	5.5
4	観光振興	3.0	2.1	5.1
5	地域づくり	2.6	2.5	5.1
6	商業振興	3.9	1.1	4.9
7	農林業振興	3.5	1.2	4.8
8	公園・緑地の管理	3.3	0.9	4.2
9	工業振興	3.2	0.9	4.0
10	スポーツ・レクリエーション	3.0	1.1	4.0

過去調査との比較

順位	R1	順位	R2
1	文化遺産の保存・活用(歴史・文化・産業遺産の保存継承)	1	観光振興
2	文化・芸術(芸術・文化)	2	スポーツ・レクリエーション
3	スポーツ(スポーツ・レクリエーション)	3	農林業振興
4	林業振興(農林業振興)	4	芸術文化
5	公園・緑地・河畔の整備(公園・緑地の管理)	5	地域づくり
6	墓地・火葬場の整備	6	学校教育
7	建設産業振興	7	行財政運営
8	地域福祉	8	生涯教育
9	土地利用	9	歴史・文化・産業遺産の保存継承
10	商業振興	10	市民参画

(3) 評価点による評価

評価点の計算方法について

各施策の満足度・重要度に関して、評価点での分析を行います。

分野別の各項目に関して、満足度及び重要度の回答者数に点数を掛け、その平均値（加重平均）を使用して計算を行います。

●満足度の評価点（加重平均）の算出方法

$$\text{評価点} = \left(\begin{array}{l} \text{「満足している」の回答者数} \quad \times \quad 10 \text{点} \\ + \\ \text{「やや満足」の回答者数} \quad \times \quad 5 \text{点} \\ + \\ \text{「普通」の回答者数} \quad \times \quad 0 \text{点} \\ + \\ \text{「やや不満」の回答者数} \quad \times -5 \text{点} \\ + \\ \text{「不満で」の回答者数} \quad \times -10 \text{点} \end{array} \right) \div \text{無回答以外の回答者数}$$

●重要度の評価点（加重平均）の算出方法

$$\text{評価点} = \left(\begin{array}{l} \text{「重視している」の回答者数} \quad \times \quad 10 \text{点} \\ + \\ \text{「やや重視である」の回答者数} \quad \times \quad 5 \text{点} \\ + \\ \text{「普通」の回答者数} \quad \times \quad 0 \text{点} \\ + \\ \text{「あまり重視でない」の回答者数} \quad \times -5 \text{点} \\ + \\ \text{「重視ではない」の回答者数} \quad \times -10 \text{点} \end{array} \right) \div \text{無回答以外の回答者数}$$

満足度の評価点

施策項目	全体	居住地区別						
		平岸地区	茂尻・百戸・エ ルム地区	住友地区(住 友・日の出)	赤平市街(泉町・ 錦町・本町・大 町・東大町)	豊里地区(昭和・ 桜木・宮下・豊 栄・幸・美園)	文京・豊丘・若 木・赤間・東豊 里・西豊里地区	住吉・共和・ 幌岡地区
健康づくり	1.91	2.55	1.89	1.48	1.94	2.31	1.57	1.84
地域医療	-0.12	-0.32	-0.31	-0.44	0.14	0.05	-0.12	0.79
地域福祉	0.65	0.67	0.77	0.34	0.28	1.51	0.21	1.05
出産・子育て支援	1.16	0.14	1.10	0.49	1.10	2.57	1.14	-0.29
高齢者支援	0.96	1.02	0.34	0.49	1.17	1.63	0.87	1.11
障がい者支援	0.96	0.77	0.22	0.78	1.07	1.71	0.93	0.63
居住環境	-0.84	-1.74	-1.60	0.08	-1.08	0.06	-1.10	-0.94
移住・定住支援	-0.17	-0.25	-0.90	-0.52	-0.25	0.95	-0.24	-0.29
公園・緑地の管理	-0.40	-0.96	-0.63	-0.71	-0.81	-0.47	0.23	0.00
環境衛生	1.50	2.60	1.77	1.67	-0.07	1.41	1.73	1.94
上水道	0.28	0.91	0.00	0.35	-0.15	0.45	0.40	-0.29
下水道	0.60	1.55	0.75	0.74	0.15	0.89	0.45	-1.11
道路の整備	-0.20	-0.31	-0.77	-0.16	0.21	-0.31	-0.11	0.00
公共交通	-2.28	-4.04	-2.27	-3.31	-1.59	-1.74	-2.00	-1.76
道路除雪	-0.02	-0.63	0.66	-1.44	-0.68	0.70	-0.04	0.83
防災	0.68	0.85	0.68	-0.60	0.30	1.02	0.85	2.22
消防・救急	2.37	2.56	1.69	2.06	2.72	2.97	2.34	1.84
防犯・交通安全	1.71	2.84	0.81	0.66	1.76	2.23	1.77	2.11
情報通信環境	0.27	1.67	-0.08	-0.24	0.00	0.38	0.10	1.92
工業振興	-0.76	0.12	-1.06	-1.92	-0.38	0.00	-1.13	-0.59
商業振興	-2.28	-1.88	-2.40	-3.45	-2.46	-1.15	-2.34	-3.75
農林業振興	-0.69	-0.41	-1.21	-1.74	-0.79	0.48	-0.69	-1.88
観光振興	-1.29	-0.25	-1.64	-2.79	-1.45	-0.28	-1.43	-1.88
学校教育	0.42	0.14	-0.23	-0.77	0.42	1.28	0.59	0.71
生涯教育	-0.05	-0.44	-0.71	-1.02	0.17	0.88	0.00	0.36
スポーツ・レクリエーション	-0.46	-1.11	-1.42	-1.17	0.00	0.42	-0.42	-0.36
芸術文化	-0.46	-1.06	-1.03	-0.60	-0.57	0.20	-0.54	0.38
歴史・文化・産業遺産の保存継承	0.47	0.64	0.30	0.00	0.97	0.51	0.45	0.00
地域づくり	0.13	-0.11	0.46	-0.90	-0.23	1.07	-0.26	1.18
市民参画	-0.14	0.15	-0.48	-0.78	-0.47	0.63	-0.19	0.36
広報・広聴	1.03	0.98	0.81	0.10	0.72	1.65	1.03	2.22
行財政運営	0.13	0.14	-0.22	-0.22	-0.16	0.43	0.53	0.00

※数値が大きいほど満足度が高い。

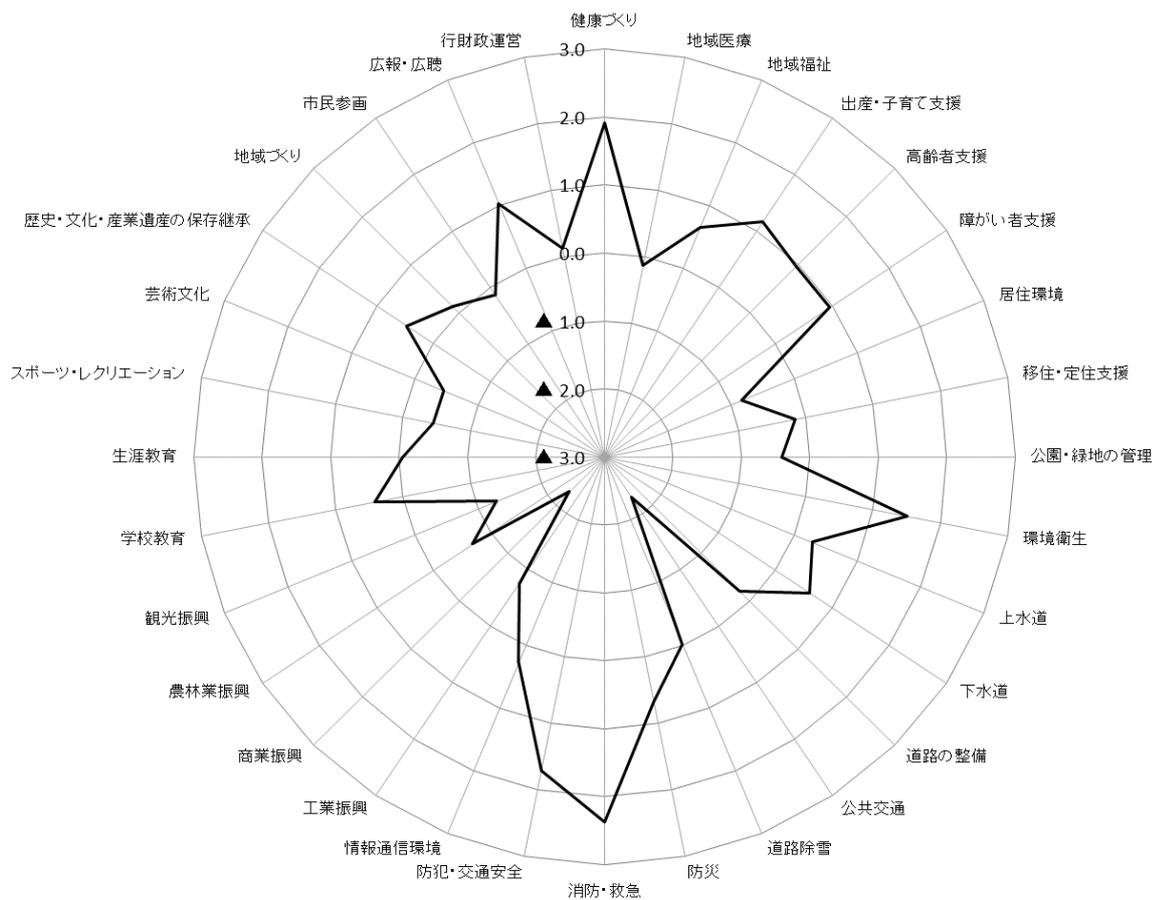
また、プラス値は満足の方が、マイナス値は不満の方がそれぞれ多い。

満足度評価／全体

順位	満足度評価上位5項目	評価点
1	消防・救急	2.37
2	健康づくり	1.91
3	防犯・交通安全	1.71
4	環境衛生	1.50
5	出産・子育て支援	1.16

順位	満足度評価下位5項目	評価点
1	公共交通	-2.28
2	商業振興	-2.28
3	観光振興	-1.29
4	居住環境	-0.84
5	工業振興	-0.76

- ▶ 評価点による満足度においては、「消防・救急」が 2.37 で最も高く、次いで、「健康づくり」(1.91)、「防犯・交通安全」(1.71)となっています。
- ▶ 一方、「公共交通」と「商業振興」並んで-2.28 と最も低く、次いで「観光振興」が-1.29 となっています。



重要度の評価点

施策項目	全体	居住地区別						
		平岸地区	茂尻・百戸・エ ルム地区	住友地区(住 友・日の出)	赤平市街(泉町・ 錦町・本町・大 町・東大町)	豊里地区(昭和・ 桜木・宮下・豊 栄・幸・美園)	文京・豊丘・若 木・赤間・東豊 里・西豊里地区	住吉・共和・ 幌岡地区
健康づくり	4.64	4.69	4.37	5.47	5.45	4.66	4.02	3.89
地域医療	6.36	7.78	6.13	6.44	6.59	6.72	5.55	6.39
地域福祉	5.42	5.76	5.76	5.09	5.60	5.76	4.80	5.83
出産・子育て支援	5.86	6.34	4.86	5.60	6.69	6.25	5.71	5.00
高齢者支援	5.10	5.22	5.00	6.35	5.30	5.25	4.27	6.18
障がい者支援	4.66	4.40	5.00	5.24	5.15	5.06	3.80	4.44
居住環境	4.29	4.11	3.47	5.10	4.85	4.48	4.15	4.38
移住・定住支援	3.41	4.29	3.21	2.50	4.83	2.97	3.10	3.13
公園・緑地の管理	2.81	3.26	2.34	2.86	2.57	2.75	3.11	2.19
環境衛生	3.84	3.94	3.21	3.96	4.41	3.97	3.80	3.24
上水道	4.82	4.43	4.33	5.10	5.62	4.70	4.76	5.29
下水道	4.54	4.55	4.24	5.00	4.92	4.38	4.36	5.00
道路の整備	4.27	4.89	4.06	4.52	3.66	4.44	4.35	3.53
公共交通	4.76	5.11	4.51	4.53	4.85	4.89	4.76	4.72
道路除雪	6.38	6.85	5.88	7.28	6.19	6.65	5.90	6.84
防災	5.20	5.35	4.66	6.67	4.33	5.49	5.12	5.53
消防・救急	6.07	6.51	5.00	7.02	6.42	6.12	5.85	6.58
防犯・交通安全	4.72	5.23	4.17	4.49	5.15	4.43	4.92	4.74
情報通信環境	3.68	3.97	2.94	4.38	4.91	3.31	3.44	2.67
工業振興	4.22	3.66	3.33	4.89	5.16	4.53	3.97	4.12
商業振興	4.35	4.00	3.40	5.20	5.23	4.25	4.28	4.12
農林業振興	3.28	2.00	2.15	4.09	4.51	3.37	3.03	5.53
観光振興	3.65	3.25	2.18	3.72	4.77	3.65	4.06	3.33
学校教育	5.63	4.51	4.85	5.88	5.65	5.89	6.22	5.00
生涯教育	3.22	2.50	2.35	3.49	3.73	3.24	3.49	3.82
スポーツ・レクリエーション	2.95	2.21	1.74	3.00	3.42	3.35	3.40	2.19
芸術文化	1.84	1.18	0.98	1.83	2.08	2.12	2.12	2.19
歴史・文化・産業遺産の保存継承	2.11	1.71	1.80	2.93	2.46	1.64	2.05	2.94
地域づくり	2.36	1.74	2.09	2.81	1.95	3.17	2.06	3.33
市民参画	1.65	0.69	1.37	1.70	1.83	1.74	1.56	3.53
広報・広聴	2.74	1.82	2.74	3.06	2.95	3.19	2.38	3.06
行財政運営	3.30	3.16	2.61	4.13	3.63	4.32	2.21	4.69

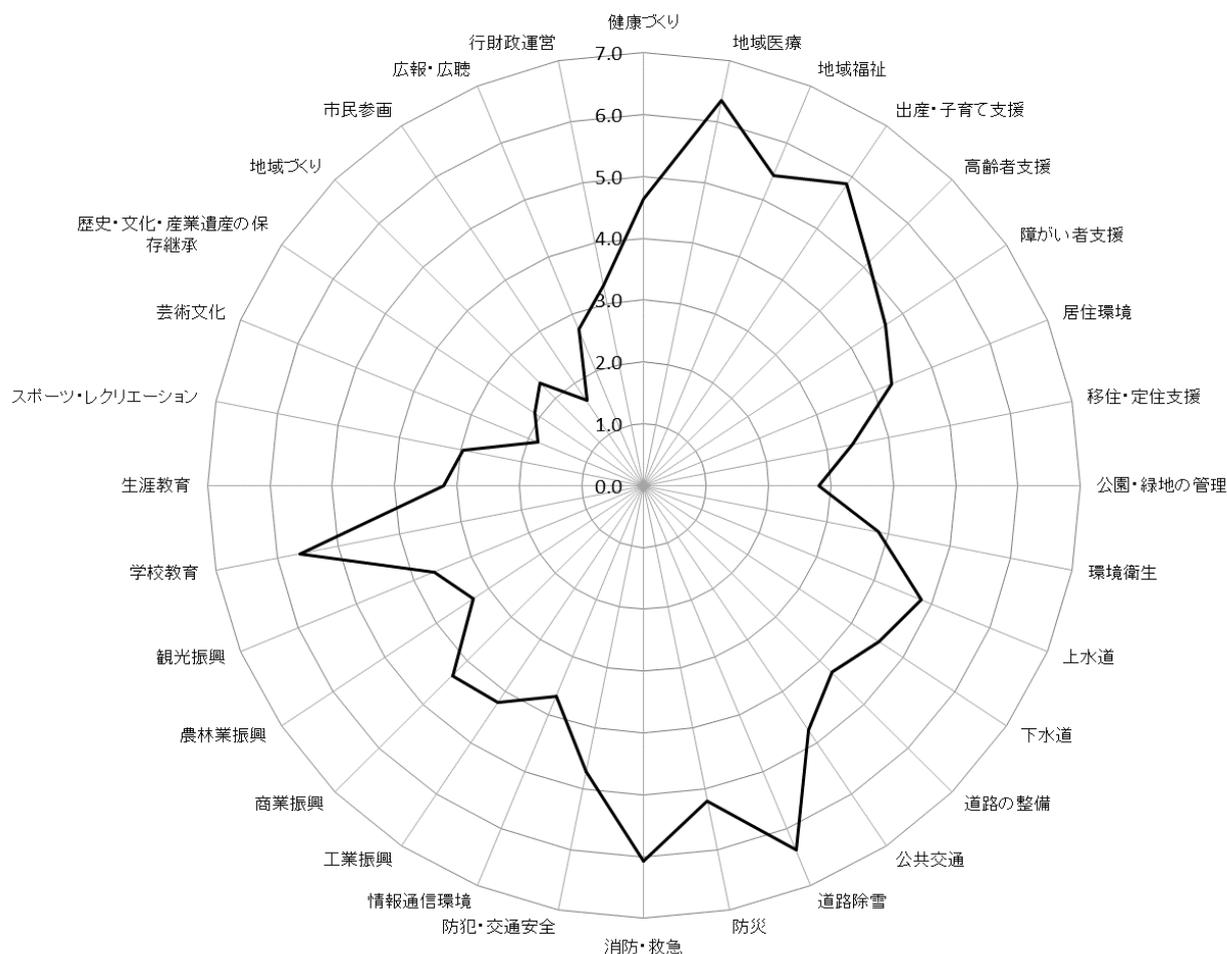
※数値が大きいほど重要度が高い。

重要度評価／全体

順位	重要度評価上位5項目	評価点
1	道路除雪	6.38
2	地域医療	6.36
3	消防・救急	6.07
4	出産・子育て支援	5.86
5	学校教育	5.63

順位	重要度評価下位5項目	評価点
1	市民参画	1.65
2	芸術文化	1.84
3	歴史・文化・産業遺産の保存継承	2.11
4	地域づくり	2.36
5	広報・広聴	2.74

- 評価点による重要度においては、「道路除雪」が6.38と最も高く、次いで「地域医療」(6.36)、「消防・救急」(6.07)となっています。
- 一方、「市民参画」は1.65で最も低く、次いで「芸術文化」(1.84)、「歴史・文化・産業遺産の保存継承」(2.11)となっています。



(4) 今後力を入れるべき項目

全体の満足度偏差値と重要度偏差値

施策項目	重要度 偏差値	満足度 偏差値	改善度	改善の 優先度
公共交通	54.86	26.76	5.01	1
商業振興	51.69	26.81	4.54	2
地域医療	67.27	47.34	1.92	3
道路除雪	67.47	48.30	1.83	4
観光振興	46.27	36.22	1.10	5
居住環境	51.28	40.49	0.72	6
学校教育	61.63	52.52	0.60	7
工業振興	50.73	41.28	0.57	8
出産・子育て支援	63.41	59.51	0.33	9
地域福祉	59.98	54.68	0.32	10
防災	58.27	54.98	0.18	11
上水道	55.32	51.17	0.13	12
農林業振興	43.45	41.94	0.12	13
道路の整備	51.07	46.55	0.11	14
高齢者支援	57.50	57.66	-0.01	15
下水道	53.16	54.19	-0.03	16
情報通信環境	46.55	51.01	-0.10	17
移住・定住支援	44.42	46.89	-0.11	18
障がい者支援	54.10	57.60	-0.17	19
生涯教育	42.98	48.01	-0.26	20
スポーツ・レクリエーション	40.90	44.13	-0.26	21
行財政運営	43.57	49.75	-0.27	22
公園・緑地の管理	39.79	44.63	-0.42	23
消防・救急	65.01	71.04	-0.73	24
防犯・交通安全	54.60	64.72	-0.83	25
環境衛生	47.76	62.80	-1.12	26
健康づくり	53.94	66.67	-1.15	27
地域づくり	36.27	49.73	-1.36	28
広報・広聴	39.22	58.33	-1.68	29
芸術文化	32.31	44.10	-1.82	30
歴史・文化・産業遺産の保存継承	34.39	52.98	-2.12	31
市民参画	30.84	47.19	-2.55	32

過去調査との比較

R1	改善の 優先度
商業振興	1
地域医療	2
公共交通の確保	3
雪対策	4
勤労者福祉	5
防災	6
観光振興	7
土地利用	8
工業振興	9
高齢者支援	10
定住促進対策	11
学校教育	12
子育て支援	13
農業振興	14
防犯	15
道路の整備	16
生涯学習	17
上水道の整備	18
住宅施策	19
公園・緑地・河畔の整備	20
情報共有	21
情報通信	22
行財政運営	23
治山・治水	24
障がい者支援	25
消費者対策	26
保健サービス提供	27
スポーツ	28
地域福祉	29
市民参画・協働	30
下水道の整備	31
建設産業振興	32
消防・救急	33
環境保全	34
交通安全	35
コミュニティ活動	36
墓地・火葬場の整備	37
林業振興	38
男女共同参画	39
人権尊重のまちづくり	40
ごみ処理・リサイクル等	41
文化・芸術	42
し尿処理	43
文化遺産の保存・活用	44

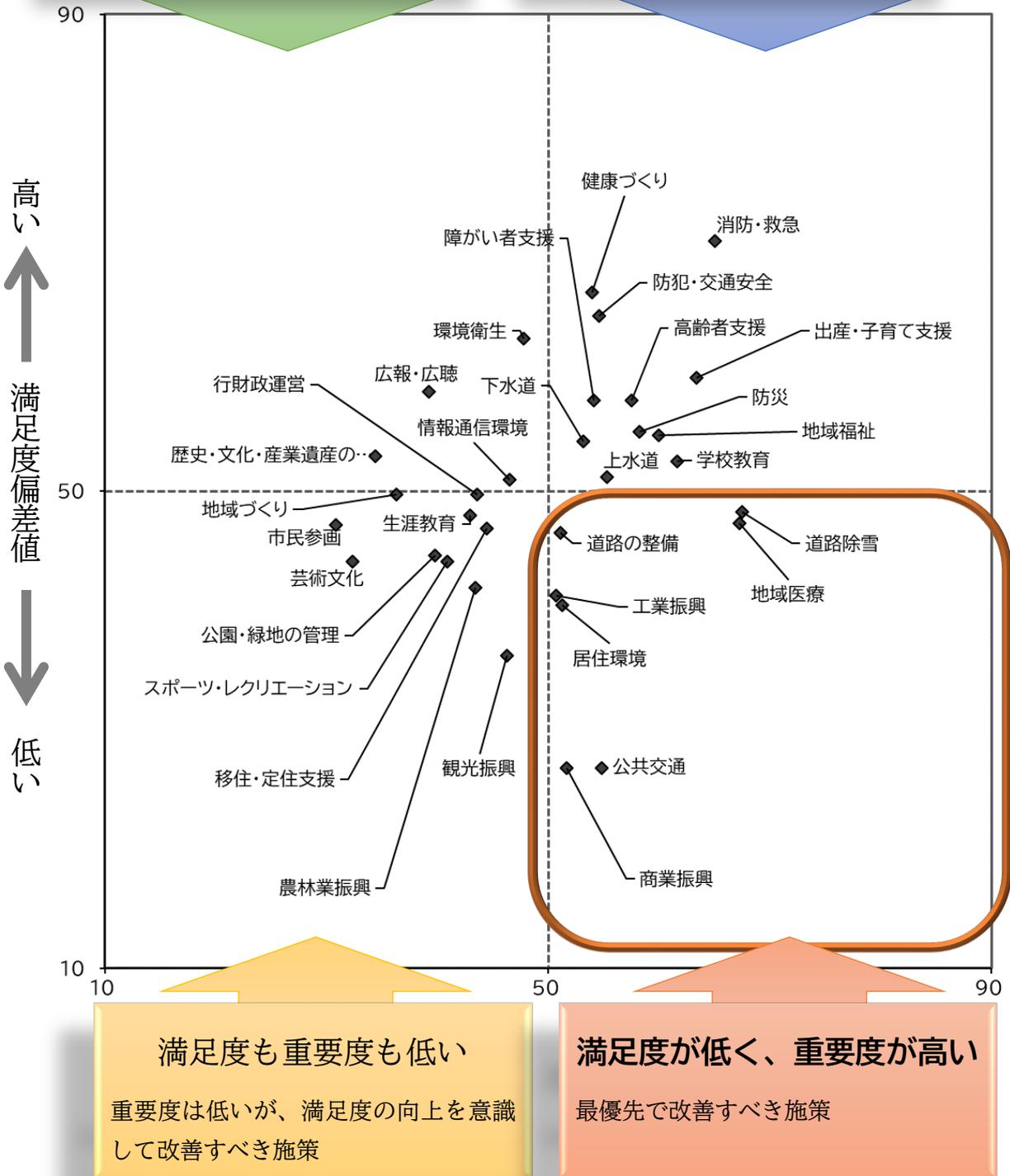
R2	改善の 優先度
商業振興	1
地域医療	2
公共交通	3
居住環境	4
出産・子育て支援	5
学校教育	6
工業振興	7
観光振興	8
道路除雪	9
農林業振興	10
高齢者支援	11
地域福祉	12
防災	13
道路の整備	14
上水道	15
障がい者支援	16
行財政運営	17
下水道	18
生涯教育	19
情報通信環境	20
スポーツ・レクリエーション	21
移住・定住支援	22
健康づくり	23
防犯・交通安全	24
公園・緑地の管理	25
消防・救急	26
地域づくり	27
環境衛生	28
芸術文化	29
広報・広聴	30
歴史・文化・産業遺産の保存継承	31
市民参画	32

満足度が高く、重要度が低い

重要度は低いが、現状の水準を維持すべき施策

満足度も重要度も高い

現状の水準を引き続き、重点的に維持すべき施策



満足度も重要度も低い

重要度は低いが、満足度の向上を意識して改善すべき施策

満足度が低く、重要度が高い

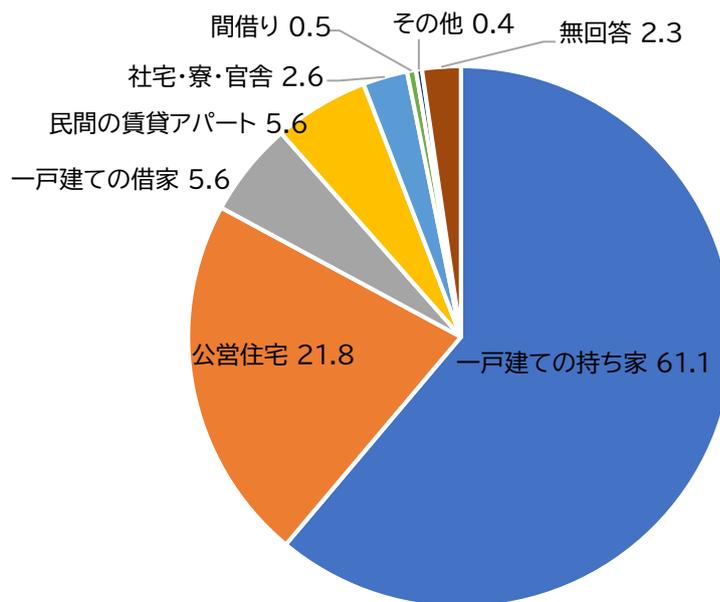
最優先で改善すべき施策

4. 住まい・住環境について

(1) 現在住んでいる住宅について

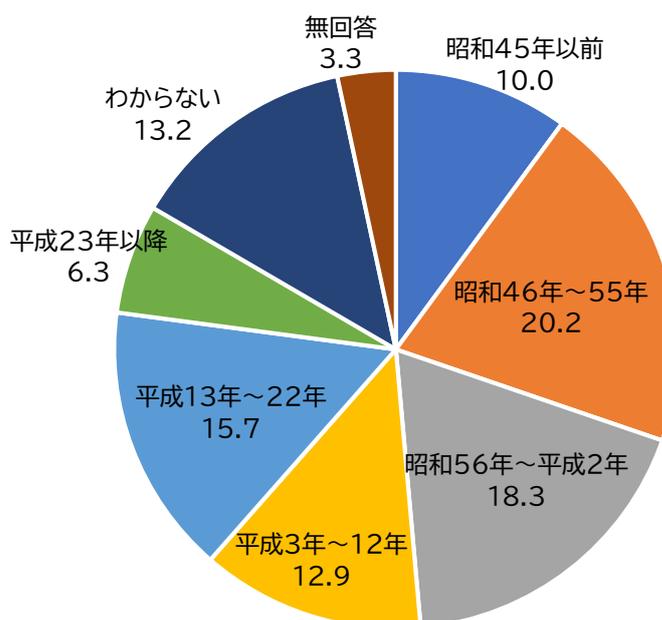
① 現在住んでいる住宅の種類

住宅の種類は「一戸建ての持ち家」が61.1%と最も多く、続いて「公営住宅」が21.8%、「一戸建ての借家」と「民間の賃貸アパート」が並んで5.6%となっています。



② 現在住んでいる住宅の建築年

住宅の建築年は「昭和46年～55年」が20.2%と最も多く、続いて「昭和56～平成2年」(18.3%)、「平成13年～22年」(15.7%)、「平成3年～12年」(12.9%)となっています。

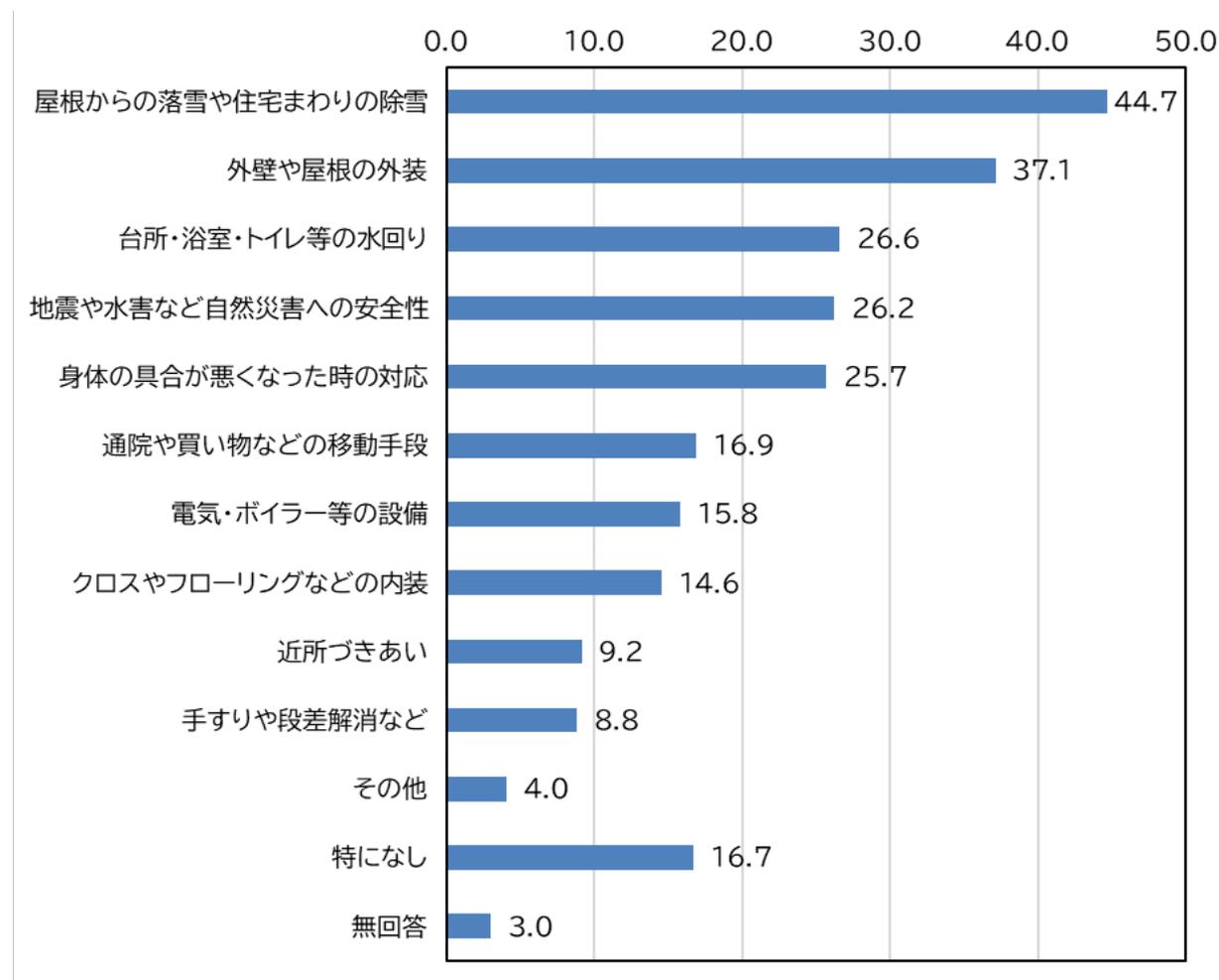


③ 現在住んでいる住宅や日常生活で心配していること

現在住んでいる住宅や日常生活で心配していることに関して一番多いものは「屋根からの落雪や住宅まわりの除雪」で44.7%と、半数近くの方が心配していることがわかりました。

次点で多かったのが「外壁や屋根の外装」(37.1%)でした。

(単位：%)



現在住んでいる住宅や日常生活で心配していること その他の内容 (多寡問わず掲載)

- 居宅の関係
 - とにかく古く、不具合があってもなかなか直してもらえない。
 - 狭いので物の置き場が少ない。
 - 浴室がない。水洗トイレでない。
 - 階段が古く、冬は滑る。
 - 上下水道の老朽化。
 - 窓の取り換え。
 - ドア同士の干渉。
 - 擁壁の傾き
 - カビ

- 周辺環境
 - 交通が不便
 - 近所に商店がない
 - 歩いて行ける地域に小規模でも良いのでスーパーマーケットがあれば良い（豊里地区）
 - 家の裏の太陽光発電所
 - 飼い犬の鳴き声
 - 虫の出入り
- 費用関係
 - 水道・光熱費が前居住地よりもかかる。
 - 家賃が高すぎて家賃助成終了後が心配
 - 空き家関係
 - 空き家が倒壊しそうで危険
 - 空き家（壊れた）からの物の飛散
 - 近所の空き家の雑草が多い
- その他
 - （自身が）高齢者であること
 - 災害時、停電になった時の水の確保
 - 車がなくなった時の移動手段
 - 広報が投函されていない。

住んでいる住宅の種類別回答結果

（単位：％）

	n	外壁や屋根の外装	台所・浴室・トイレ等の水回り	クロスやフローリングなどの内装	手すりや段差解消など	電気・ボイラー等の設備	屋根からの落雪や住宅まわりの除雪
		568	37.1	26.6	14.6	8.8	15.8
一戸建ての持ち家	347	46.7	23.9	15.0	11.0	18.2	51.3
一戸建ての借家	32	43.8	34.4	28.1	3.1	25.0	62.5
公営住宅	124	16.1	33.1	12.9	6.5	8.9	37.1
民間の賃貸アパート	32	21.9	34.4	15.6	6.3	15.6	18.8
社宅・寮・官舎	15	46.7	26.7	6.7	0.0	13.3	13.3
間借り	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	2	50.0	50.0	0.0	50.0	50.0	50.0
無回答	13	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7

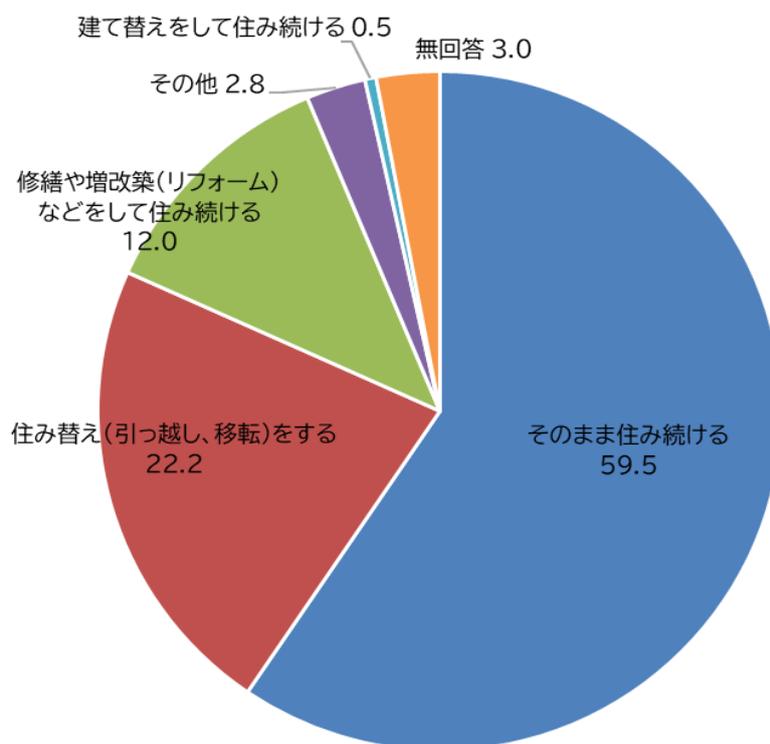
	n	地震や水害など自然災害への安全性	身体の具合が悪くなった時の対応	通院や買い物などの移動手段	近所づきあい	特になし	その他
		568	26.2	25.7	16.9	9.2	16.7
一戸建ての持ち家	347	25.6	29.1	18.4	7.8	15.3	3.2
一戸建ての借家	32	37.5	34.4	18.8	9.4	21.9	6.3
公営住宅	124	25.0	21.8	16.9	11.3	16.9	4.0
民間の賃貸アパート	32	37.5	12.5	9.4	15.6	31.3	9.4
社宅・寮・官舎	15	26.7	0.0	0.0	0.0	20.0	13.3
間借り	3	0.0	66.7	33.3	33.3	33.3	0.0
その他	2	50.0	0.0	50.0	100.0	0.0	0.0
無回答	13	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0

※網掛け部は住宅の種類の中で回答者が一番多い項目

(2) 住み替えについて

① これからも現在の住宅に住み続けたいか

「そのまま住み続ける」と答えた方が 59.5%、「修繕や増改築（リフォーム）などをして住み続ける」（12.0%）と「建て替えをして住み続ける」（0.5%）を合計すると、住み続けるとした方は 72.0%という結果となりました。一方で、「住替え（引っ越し・移転）をする」とした方は 22.2%となりました。



住んでいる住宅の種類別回答結果

(単位：%)

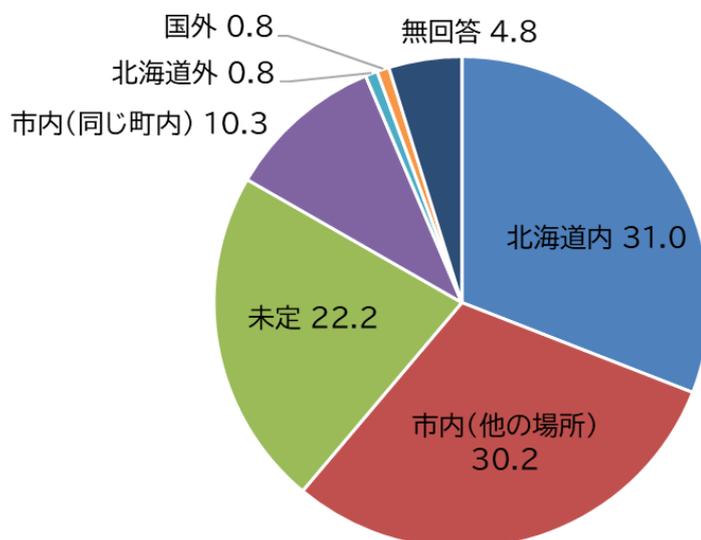
	n	現在の住宅にそのまま住み続ける	建て替えをして、現在の場所に住み続ける	修繕や増改築(リフォーム)などをして、現在の場所に住み続ける	住み替え(引っ越し、移転)をする	その他
	568	59.5	0.5	12.0	22.2	2.8
一戸建ての持ち家	347	64.3	0.6	18.2	13.0	3.2
一戸建ての借家	32	34.4	3.1	6.3	53.1	0.0
公営住宅	124	70.2	0.0	1.6	25.0	2.4
民間の賃貸アパート	32	31.3	0.0	3.1	65.6	0.0
社宅・寮・官舎	15	33.3	0.0	0.0	60.0	6.7
間借り	3	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3
その他	2	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
無回答	13	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0

※網掛け部は住宅の種類の中で回答者が一番多い項目

② どのような場所に住み替えたいか

市内で住み替えをしたいと答えた方は、他の場所 30.2%、同じ町内 10.2%の合計 40.5%という結果となりました。

一方、市外に住み替えたいとした方は、「北海道内」(31.0%)、「北海道外」(0.8%)、「国外」(0.8%)の合計 32.6%となりました。



住んでいる住宅の種類別回答結果

(単位：%)

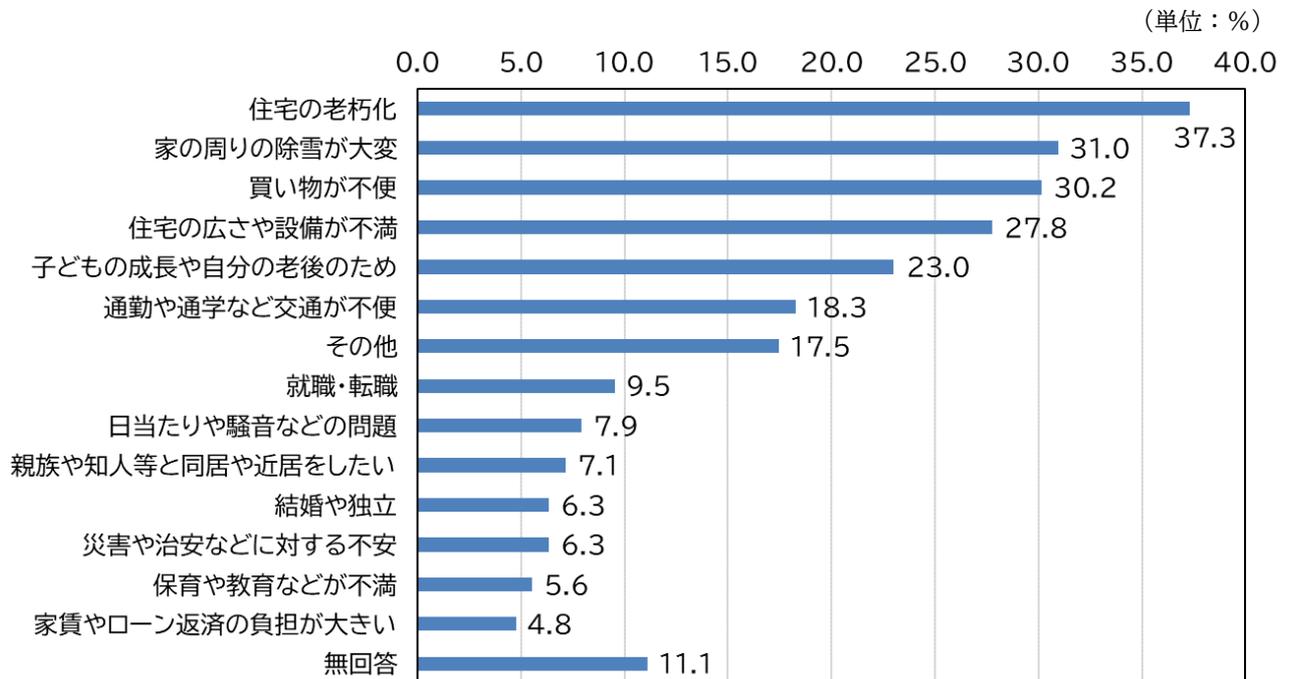
	n	市内(同じ町内)	市内(他の場所)	北海道内	北海道外	国外	未定
	126	10.3	30.2	31.0	0.8	0.8	22.2
一戸建ての持ち家	45	11.1	22.2	37.8	2.2	0.0	20.0
一戸建ての借家	17	11.8	17.6	47.1	0.0	0.0	23.5
公営住宅	31	6.5	41.9	12.9	0.0	3.2	29.0
民間の賃貸アパート	21	19.0	42.9	19.0	0.0	0.0	19.0
社宅・寮・官舎	9	0.0	22.2	55.6	0.0	0.0	22.2
間借り	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	2	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0

※網掛け部は住宅の種類の中で回答者が一番多い項目

③ 住み替えたい理由

住み替えをしたい一番の理由は「住宅の老朽化」で37.3%となりました。

続いて「家の周りの除雪が大変」(31.0%)、「買い物が不便」(30.2%)、「住宅の広さや設備が不満」(27.8%)が比較的多い理由となっています。



住み替えたい理由 その他の内容（多寡問わず掲載）

- 店舗兼住居に住み替えたい。
- 企業や商店が少ない、交通が不便。
- 虫
- 近所づきあい
- 距離感がおかしい人がいる。
- 2LDKの借家しかない。1階にある3LDKの借家は空いていないし、家を建てるしかない。いつまで経っても民間のアパートが増えないなら市外に行くしかない。赤平はそこが他の市と違って考えが甘すぎる。
- 家族や自身の転勤
- 高台の家のため車をやめたら全てが不便、不安。
- 周囲の環境・家賃
- 取り壊されるため
- 家族との同居に限界を感じているから
- 間借りしているから
- 家を建てたい
- 定年退職になる為
- 家は古く、奥まった所に家があるので老後が不安。
- 税金の安い所に住みたい。

- 頑張れるだけ住み続けたいが、高齢の両親をかかえ、夫婦とも 60 歳近くとなり農家は続けることができない。
- 通院のため
- 親が亡くなったら住み続ける意味はない。
- 太陽光発電所があるから。

住んでいる住宅の種類別回答結果

(単位：%)

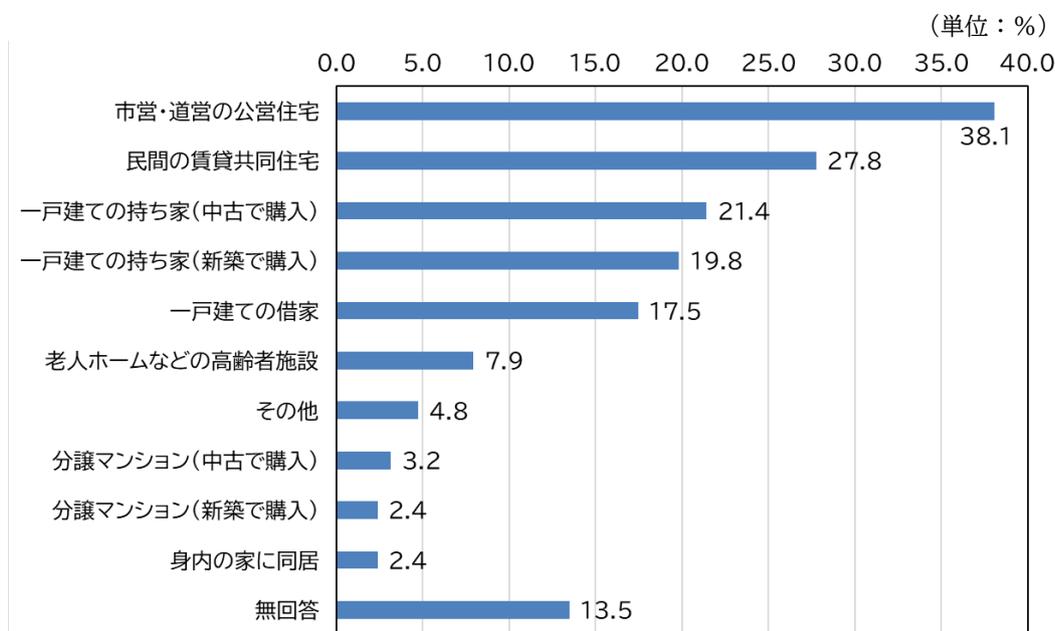
	n	就職・転職	結婚や独立	親族や知人等と同居や近居をするため	子どもの成長や自分の老後に備えるため	住宅の広さや設備に不満がある	家賃やローン返済の負担が大きい	日当たりや騒音などの問題がある
	126	9.5	6.3	7.1	23.0	27.8	4.8	7.9
一戸建ての持ち家	45	11.1	11.1	11.1	22.2	24.4	0.0	8.9
一戸建ての借家	17	11.8	0.0	0.0	17.6	23.5	5.9	5.9
公営住宅	31	6.5	6.5	6.5	16.1	29.0	6.5	6.5
民間の賃貸アパート	21	14.3	4.8	4.8	33.3	38.1	14.3	14.3
社宅・寮・官舎	9	0.0	0.0	11.1	33.3	33.3	0.0	0.0
間借り	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	2	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0

	n	住宅が老朽化している	家のまわりの除雪が大変	通勤や通学など交通が不便	買い物が不便	災害や治安などに対する不安がある	保育や教育などに不満がある	その他
	126	37.3	31.0	18.3	30.2	6.3	5.6	17.5
一戸建ての持ち家	45	53.3	53.3	24.4	48.9	6.7	6.7	17.8
一戸建ての借家	17	58.8	35.3	35.3	29.4	0.0	17.6	11.8
公営住宅	31	25.8	19.4	12.9	22.6	12.9	0.0	9.7
民間の賃貸アパート	21	9.5	4.8	4.8	4.8	0.0	0.0	28.6
社宅・寮・官舎	9	22.2	0.0	11.1	22.2	0.0	11.1	22.2
間借り	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
その他	2	50.0	100.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0

※網掛け部は住宅の種類の中で回答者が一番多い項目

④ どのような住宅に住み替えたいか

「どのような住宅に住み替えたいか」の回答で一番多かったのは、「市営・道営の公営住宅」で38.1%となりました。続いて「民間の賃貸共同住宅」(27.8%)、「一戸建ての持ち家(中古で購入)」(21.4%)、「一戸建ての持ち家(新築で購入)」(19.8%)、「一戸建ての借家」の順で多くなっています。



住んでいる住宅の種類別回答結果

(単位：%)

	n	一戸建ての持ち家 (新築で購入)	一戸建ての持ち家 (中古で購入)	一戸建ての借家	分譲マンション (新築で購入)	分譲マンション (中古で購入)	市営・道営の 公営住宅	民間の 賃貸共同住宅	老人ホームなどの 高齢者施設	身内の家に同居	その他
	126	19.8	21.4	17.5	2.4	3.2	38.1	27.8	7.9	2.4	4.8
一戸建ての持ち家	45	11.1	13.3	8.9	2.2	6.7	46.7	24.4	8.9	2.2	6.7
一戸建ての借家	17	23.5	35.3	47.1	0.0	0.0	29.4	41.2	5.9	5.9	0.0
公営住宅	31	12.9	22.6	12.9	3.2	3.2	48.4	22.6	12.9	3.2	6.5
民間の賃貸アパート	21	47.6	23.8	19.0	0.0	0.0	14.3	28.6	0.0	0.0	4.8
社宅・寮・官舎	9	22.2	33.3	22.2	11.1	0.0	22.2	44.4	0.0	0.0	0.0
間借り	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0

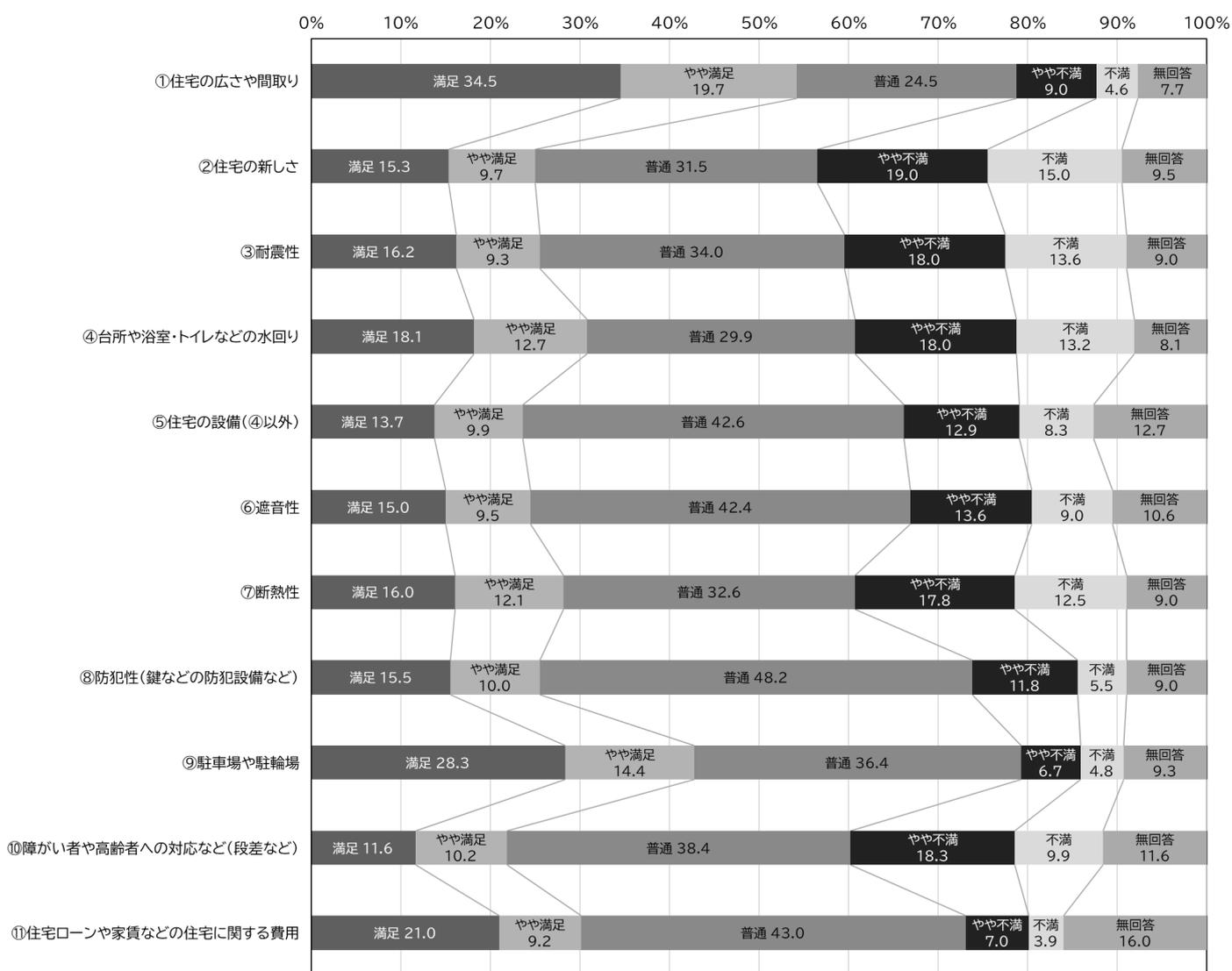
※網掛け部は住宅の種類の中で回答者が一番多い項目

(3)住環境について

① 現在住んでいる住宅にどの程度満足しているか

「住宅の広さや間取り」におおむね満足している方の割合は、54.2%と一番多くなり、続いて「駐車場や駐輪場」(42.7%)、「台所や浴室・トイレなどの水回り」(30.8%)、「住宅ローンや家賃などの住宅に関する費用」(30.2%)の順に多い結果となりました。

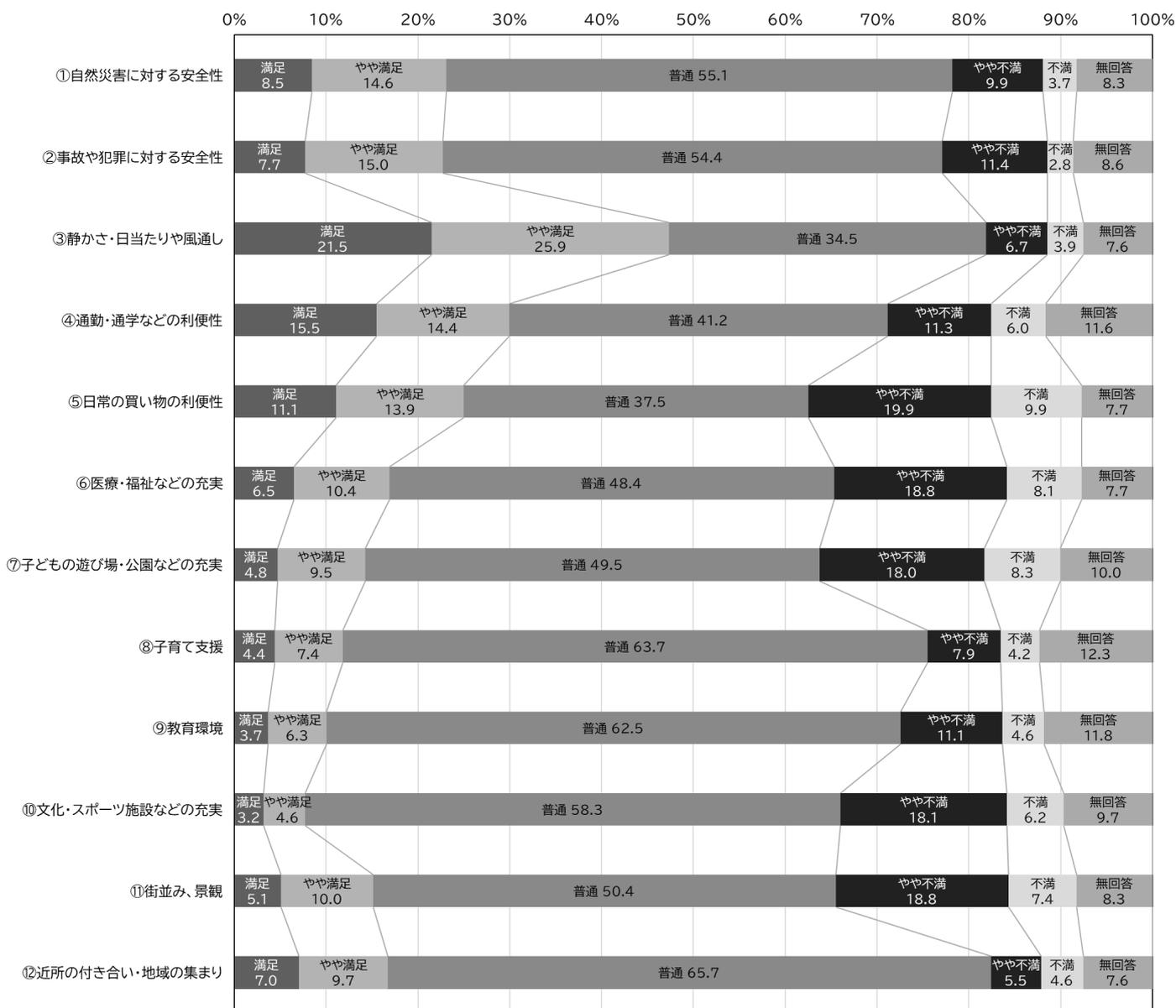
また、少なからず不満に感じている方の割合が多かったのは、「住宅の新しさ」の34.0%で、続いて「耐震性」(31.6%)、「台所や浴室・トイレなどの水回り」(31.2%)、「断熱性」(30.3%)となりました。「台所や浴室・トイレなどの水回り」については、満足している方も、不満に感じている方も多い結果となりました。



② 住宅周辺の環境についてどの程度満足しているか

「静かさ・日当たりや風通し」におおむね満足している方の割合が47.4%と最も多く、続いて「通勤・通学などの利便性」(29.9%)、「日常の買い物の利便性」(25.0%)の順に多くなりました。

また、少なからず不満に感じている方の割合は、「日常の買い物の利便性」が29.8%と一番多くなり、続いて「医療・福祉などの充実」(26.9%)、「子どもの遊び場・公園などの充実」(26.3%)、「街並み、景観」(26.2%)の順に多くなりました。「買い物の利便性」については、満足している方も、不満に思っている方の割合も多くなりましたが、不満に思っている方の割合の方が多結果となりました。



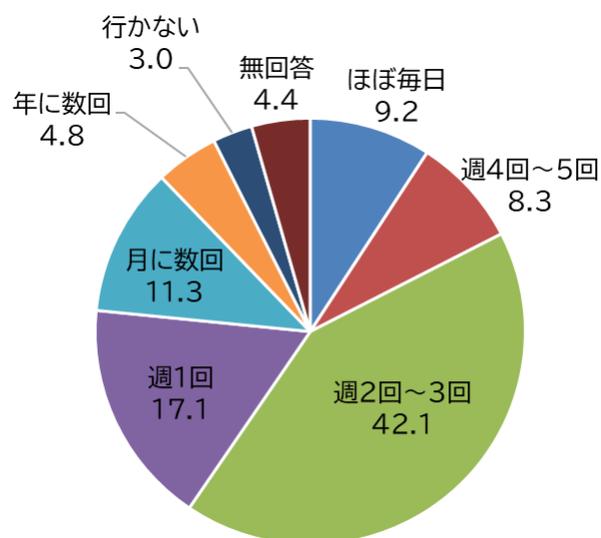
5. 商業振興について

(1) 市内商店の利用頻度について

① 利用頻度

市内商店の利用頻度は、「週2回～3回」が42.1%と最も多く、続いて「週に1回」が17.1%、「月に数回」が11.3%となっており、「ほぼ毎日」が9.2%、「週4回～5回」は8.3%にとどまっています。

これを年齢階層別に見た場合、全体と大差がない状況です。



② 男女別・年齢別

男女別・年齢別ともに「週2回～3回」が最も多く、「ほぼ毎日」と回答したのは、最も多く回答した「30～39歳」でも12.9%と低い結果となりました。

(単位：%)

	n(単位:人)	ほぼ毎日	週4回～5回	週2回～3回	週1回	月に数回	年に数回	行かない	無回答
全体	568	9.2	8.3	42.1	17.1	11.3	4.8	3.0	4.4
性別									
男性	243	9.9	6.6	39.1	17.3	11.9	6.2	4.5	4.5
女性	260	7.3	9.6	45.0	18.5	10.8	3.1	1.9	3.8
年齢									
18～29歳	50	4.0	10.0	34.0	18.0	16.0	8.0	10.0	0.0
30～39歳	85	12.9	9.4	42.4	15.3	11.8	5.9	2.4	0.0
40～49歳	77	7.8	9.1	48.1	15.6	5.2	6.5	6.5	1.3
50～59歳	88	9.1	5.7	43.2	23.9	11.4	1.1	1.1	4.5
60～69歳	120	10.0	7.5	45.0	14.2	13.3	4.2	1.7	4.2
70歳以上	143	9.1	8.4	39.9	16.8	10.5	4.9	1.4	9.1

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

③ 地区別

地区別でも、「週2回~3回」の割合が最も多い結果となりました。

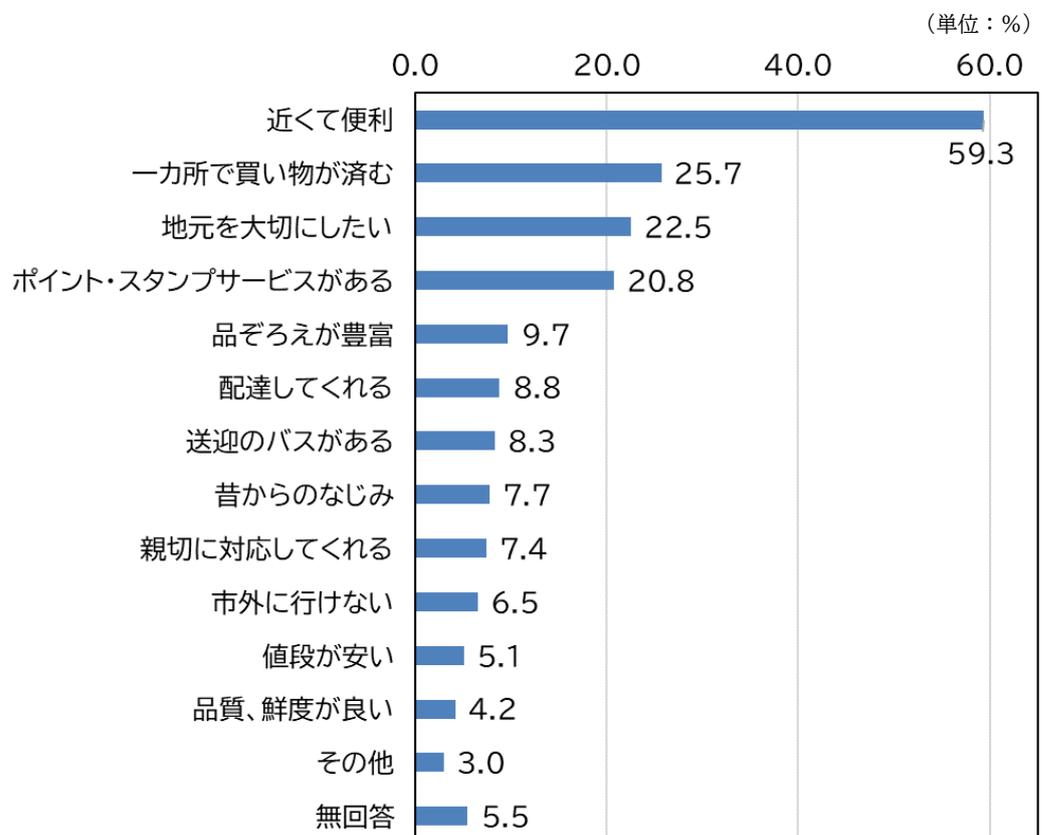
また、「ほぼ毎日」と答えた割合が比較的多い結果となったのは、「住友地区(住友・日の出)」(23.3%)と「赤平市街(泉町・錦町・本町・大町・東大町)」(14.8%)で市街部中心地に近い地域となりました。
(単位：%)

	n(単位:人)	ほぼ毎日	週4回~5回	週2回~3回	週1回	月に数回	年に数回	行かない
全体	568	9.2	8.3	42.1	17.1	11.3	4.8	3.0
平岸地区	54	1.9	7.4	42.6	29.6	13.0	1.9	0.0
茂尻・百戸・エルム地区	90	8.9	8.9	38.9	14.4	12.2	7.8	3.3
住友地区(住友・日の出)	73	23.3	5.5	41.1	11.0	8.2	4.1	1.4
赤平市街(泉町・錦町・本町・大町・東大町)	81	14.8	12.3	45.7	14.8	6.2	1.2	2.5
豊里地区(昭和・桜木・宮下・豊栄・幸・美園)	104	3.8	5.8	51.9	15.4	8.7	6.7	3.8
文京・豊丘・若木・赤間・東豊里・西豊里地区	142	6.3	9.9	38.0	19.7	12.7	4.2	4.2
住吉・共和・幌岡地区	20	0.0	5.0	30.0	20.0	30.0	10.0	5.0

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

(2)市内のお店を利用する理由

市内のお店を利用する理由は「近くて便利」が59.3%と突出して多く、続いて「1カ所で買い物が済む」(25.7%)、「地元を大切にしたい」(22.5%)、「ポイント・スタンプサービスがある」(20.8%)となっています。



※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

その他内訳

- チラシなどを見て必要があれば利用する。
- コロナが怖くて市外に出られない。バスに乗るのも怖い。
- コープやマックスバリュ、ツルハ以外にほとんど利用するお店がない。
- 他にないから仕方なく。
- 市外に行くのが面倒なとき。
- 市内で買える物があるとき。
- 市外で買い物をしたいが燃料費がかかるから。
- 時間短縮のため。
- 不足した物や必要だと思う時、市外に行くのが面倒なとき。
- 近いのがそこしかない。
- 忙しくて市外に買い物に行けないとき。

男女別・年齢別

男女別・年齢別でも、「近くて便利」と回答した方がすべての分類で一番多くなりました。30～49歳では約7割の方が「近くて便利」と回答する結果となりました。

(単位：%)

	n(単位:人)	近くて便利	品ぞろえが豊富	一カ所で 買い物が済む	値段が安い	品質、鮮度がよい	親切に 対応してくれる	配達してくれる
全体	568	59.3	9.7	25.7	5.1	4.2	7.4	8.8
性別								
男性	243	58.4	11.5	26.3	6.6	5.3	7.8	7.0
女性	260	62.3	7.7	25.4	3.8	3.1	7.7	10.0
年齢								
18～29歳	50	58.0	4.0	30.0	6.0	2.0	2.0	4.0
30～39歳	85	70.6	7.1	16.5	4.7	3.5	3.5	4.7
40～49歳	77	70.1	6.5	18.2	5.2	1.3	5.2	2.6
50～59歳	88	65.9	5.7	23.9	8.0	1.1	5.7	6.8
60～69歳	120	60.0	8.3	24.2	3.3	5.0	8.3	6.7
70歳以上	143	43.4	18.9	36.4	4.9	8.4	12.6	18.9

	n(単位:人)	ポイント・スタンプ サービスがある	昔からのなじみ	送迎のバスがある	地元を 大切にしたい	市外に行けない	その他	無回答
全体	568	20.8	7.7	8.3	22.5	6.5	3.0	5.5
性別								
男性	243	13.2	11.5	6.2	26.3	3.7	3.7	5.3
女性	260	25.4	3.8	10.0	17.3	8.8	2.7	4.6
年齢								
18～29歳	50	10.0	10.0	0.0	12.0	2.0	4.0	0.0
30～39歳	85	12.9	9.4	7.1	10.6	8.2	7.1	0.0
40～49歳	77	14.3	9.1	0.0	18.2	3.9	3.9	3.9
50～59歳	88	20.5	6.8	4.5	15.9	2.3	4.5	3.4
60～69歳	120	26.7	5.8	10.8	26.7	7.5	0.8	5.8
70歳以上	143	27.3	7.7	16.1	36.4	10.5	0.7	11.2

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

地区別

地区別でみた場合も、「近くて便利」と回答した方が一番多い結果となりましたが、赤平市街から離れる距離に応じて割合が下がっていく傾向にあります。

(単位：%)

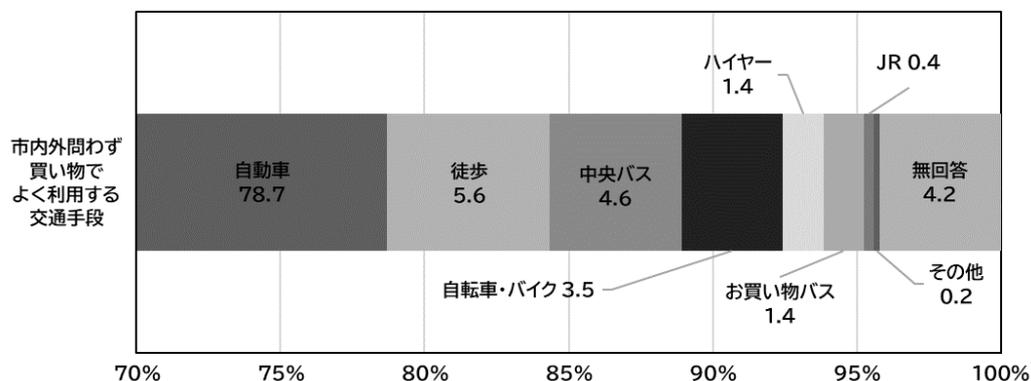
	n(単位:人)	近くて便利	品ぞろえが豊富	一カ所で 買い物が済む	値段が安い	品質、鮮度がよい	親切に 対応してくれる	配達してくれる
全体	568	59.3	9.7	25.7	5.1	4.2	7.4	8.8
平岸地区	54	44.4	13.0	27.8	9.3	11.1	13.0	5.6
茂尻・百戸・エルム地区	90	54.4	14.4	28.9	7.8	4.4	8.9	7.8
住友地区(住友・日の出)	73	72.6	8.2	24.7	4.1	4.1	6.8	13.7
赤平市街(泉町・錦町・ 本町・大町・東大町)	81	77.8	4.9	32.1	1.2	1.2	6.2	4.9
豊里地区(昭和・桜木・ 宮下・豊栄・幸・美園)	104	61.5	9.6	25.0	4.8	4.8	6.7	5.8
文京・豊丘・若木・赤間・ 東豊里・西豊里地区	142	52.8	8.5	21.1	4.9	2.8	6.3	10.6
住吉・共和・幌岡地区	20	35.0	15.0	25.0	5.0	5.0	5.0	25.0

	n(単位:人)	ポイント・スタンプ サービスがある	昔からのなじみ	送迎のバスがある	地元を 大切にしたい	市外に行けない	その他	無回答
全体	568	20.8	7.7	8.3	22.5	6.5	3.0	5.5
平岸地区	54	25.9	11.1	9.3	22.2	5.6	3.7	5.6
茂尻・百戸・エルム地区	90	25.6	4.4	7.8	27.8	10.0	4.4	5.6
住友地区(住友・日の出)	73	24.7	9.6	5.5	17.8	11.0	1.4	5.5
赤平市街(泉町・錦町・ 本町・大町・東大町)	81	14.8	7.4	2.5	17.3	4.9	1.2	2.5
豊里地区(昭和・桜木・ 宮下・豊栄・幸・美園)	104	21.2	4.8	8.7	29.8	1.9	4.8	4.8
文京・豊丘・若木・赤間・ 東豊里・西豊里地区	142	17.6	9.2	12.7	19.0	7.0	2.1	7.7
住吉・共和・幌岡地区	20	20.0	15.0	10.0	30.0	5.0	0.0	0.0

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

(3) 市内外問わず買い物で利用する交通手段

市内外問わず買い物で利用する交通手段については、「自動車」が78.7%と突出して多く、他の交通手段はどれも10%未満となっています。



男女別・年齢別

男女別・年齢別でみても、最も多く利用する交通手段は「自動車」で、特に「40～49歳」では96.1%と非常に高い割合となりました。

(単位：%)

	n(単位:人)	徒歩	自転車・バイク	自動車	JR	中央バス	ハイヤー	お買い物バス	その他	無回答	
全体	568	5.6	3.5	78.5	0.4	4.6	1.4	1.4	0.2	4.2	
性別	男性	243	4.9	3.3	81.5	0.4	3.7	0.4	0.8	0.4	4.5
	女性	260	5.8	3.5	77.3	0.4	5.0	1.9	1.9	0.0	3.8
年齢	18～29歳	50	4.0	10.0	76.0	4.0	6.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30～39歳	85	5.9	3.5	83.5	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0	1.2
	40～49歳	77	1.3	2.6	96.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	50～59歳	88	9.1	3.4	77.3	0.0	3.4	1.1	0.0	0.0	5.7
	60～69歳	120	3.3	3.3	83.3	0.0	1.7	1.7	3.3	0.0	3.3
	70歳以上	143	8.4	2.1	65.0	0.0	8.4	3.5	2.8	0.7	8.4

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

地区別

地区別でみた買い物で利用する交通手段は、一番「自動車」を利用しているのは「豊里地区（昭和・桜木・宮下・豊栄・幸・美園）」の89.4%となりました。

(単位：%)

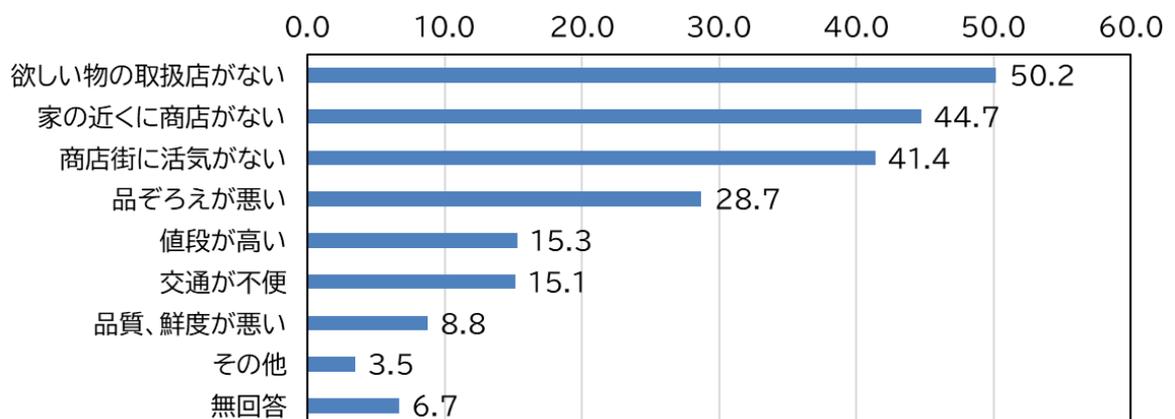
	n(単位:人)	徒歩	自転車・バイク	自動車	JR	中央バス	ハイヤー	お買い物バス	その他	無回答	
全体	568	5.6	3.5	78.5	0.4	4.6	1.4	1.4	0.2	4.2	
地区別	平岸地区	54	0.0	1.9	87.0	0.0	7.4	0.0	0.0	0.0	3.7
	茂尻・百戸・エルム地区	90	3.3	2.2	82.2	0.0	4.4	2.2	1.1	0.0	4.4
	住友地区(住友・日の出)	73	11.0	6.8	65.8	0.0	8.2	0.0	0.0	1.4	6.8
	赤平市街(泉町・錦町・本町・大町・東大町)	81	17.3	4.9	71.6	1.2	2.5	0.0	0.0	0.0	2.5
	豊里地区(昭和・桜木・宮下・豊栄・幸・美園)	104	1.0	1.9	89.4	0.0	0.0	1.0	1.9	0.0	3.8
	文京・豊丘・若木・赤間・東豊里・西豊里地区	142	4.2	3.5	75.4	0.7	5.6	3.5	2.8	0.0	4.2
	住吉・共和・幌岡地区	20	0.0	5.0	80.0	0.0	10.0	0.0	5.0	0.0	0.0

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

(4) 商業振興についての不満

商業振興についての不満は、「欲しい物の取扱店がない」(50.2%)、「家の近くに商店がない」(44.7%)、「商店に活気がない」(41.4%)の順に多い結果となりました。

(単位：%)



※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

その他の内訳（多寡問わず掲載）

- 現状に満足している。
- 店員が不親切・接客態度が悪い。
- 初めて利用する際にとっても感じが悪い。
- スーパー以外怖くて入れない。
- 営業時間が不明。
- 商店がいつも閉まっているし、閉めるのが早い。
- 若い人が服や雑貨の店が無い。
- 子供用品が少ない・無い。
- 駐車場が狭くて入りづらい。
- 買い物に行かないので分からない。

男女別・年齢別

男女別・年齢別でみると、「70歳以上」の方は「家の近くに商店がない」（52.4%）を最も多く選択した結果となりました。

（単位：％）

	n(単位:人)	家の近くに商店がない	品ぞろえが悪い	欲しい物の取扱店がない	値段が高い	品質、鮮度が悪い	交通が不便	商店街に活気がない	その他	無回答	
全体	568	44.7	28.7	50.2	15.3	8.8	15.1	41.4	5.6	6.7	
性別	男性	243	42.8	26.7	49.8	14.0	8.6	11.9	45.3	3.3	7.4
	女性	260	44.6	31.9	52.7	17.7	8.8	16.9	37.7	3.5	5.0
年齢	18～29歳	50	40.0	36.0	66.0	12.0	8.0	20.0	32.0	4.0	2.0
	30～39歳	85	32.9	36.5	49.4	21.2	11.8	14.1	41.2	9.4	0.0
	40～49歳	77	37.7	32.5	55.8	14.3	9.1	6.5	36.4	3.9	3.9
	50～59歳	88	40.9	36.4	48.9	21.6	10.2	15.9	42.0	3.4	4.5
	60～69歳	120	54.2	25.8	56.7	15.0	10.8	11.7	45.8	0.0	5.0
	70歳以上	143	52.4	17.5	38.5	9.8	4.9	21.0	44.1	2.1	14.7

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

地区別

地区別でみると、お店から離れた地区では「家の近くに商店がない」、近い地区では「欲しい物の取扱店がない」が最も多くなりましたが、すべての地区で「商店街に活気がない」を選択した割合が高くなっています。

（単位：％）

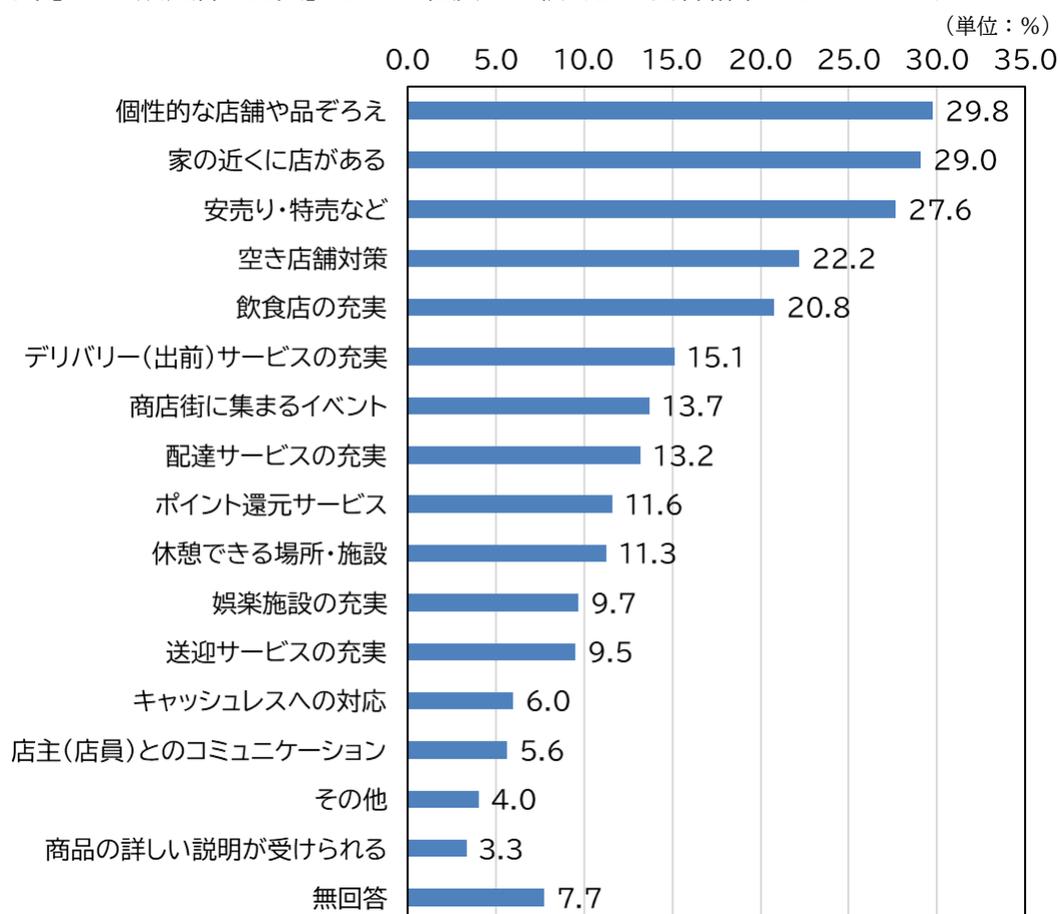
	n(単位:人)	家の近くに商店がない	品ぞろえが悪い	欲しい物の取扱店がない	値段が高い	品質、鮮度が悪い	交通が不便	商店街に活気がない	その他	無回答	
全体	568	44.7	28.7	50.2	15.3	8.8	15.1	41.4	5.6	6.7	
地区別	平岸地区	54	59.3	25.9	42.6	24.1	5.6	20.4	40.7	1.9	7.4
	茂尻・百戸・エルム地区	90	61.1	21.1	50.0	8.9	7.8	17.8	42.2	1.1	6.7
	住友地区(住友・日の出)	73	16.4	38.4	54.8	15.1	9.6	8.2	52.1	2.7	9.6
	赤平市街(泉町・錦町・本町・大町・東大町)	81	19.8	32.1	61.7	17.3	13.6	11.1	40.7	8.6	6.2
	豊里地区(昭和・桜木・宮下・豊栄・幸・美園)	104	50.0	28.8	46.2	13.5	9.6	13.5	38.5	2.9	5.8
	文京・豊丘・若木・赤間・東豊里・西豊里地区	142	51.4	28.2	47.9	16.2	8.5	16.9	37.3	3.5	4.9
	住吉・共和・幌岡地区	20	65.0	25.0	50.0	15.0	0.0	25.0	50.0	0.0	5.0

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

(5) 商業振興に必要なこと

商業振興に必要なことは、「個性的な店舗や品ぞろえ」が29.8%と最も多く、続いて「家の近くに店がある」が29.0%、「安売り・特売など」が27.6%となっています。

また、「空き店舗対策」と「飲食店の充実」も20%程度と比較的多い回答結果となりました。



その他の内訳（多寡問わず掲載）

- 人口を増加させる、人口を減少させない対策が必要。
- 駐車場を充実させる。
- 商店を経営された経験がある方々に対策を聞く。
- 公園など子どもが遊ぶ場所を充実させる。
- 各種専門店
- 品ぞろえを良くする。
- 商店街に活気が必要。
- お店の宣伝をすること。
- 初めてのお客様への対応を特によくする。
- 高齢者に優しい対応が必要。
- 車いすでも入店できる入口にする。
- 対策を個として見るのではなく、横並びで行なう。
- 市全体での取り組みが必要。
- 商工会議所の存在意義が分からない。
- 特にない

男女別・年齢別

男女別・年齢別でみると、男性・女性ともに「個性的な店舗や品ぞろえ」が一番多い結果となりました。

また、年齢別でみると、30歳代と50歳代の方は「安売り・特売など」が一番多くなり、70歳以上の方は「家の近くに店がある」が最も多い回答となりました。

(単位：%)

	n(単位:人)	家の近くに店がある	安売り・特売など	個性的な店舗や品ぞろえ	店主(店員)とのコミュニケーション	商品の詳しい説明が受けられる	商店街に集まるイベント	休憩できる場所・施設	送迎サービスの充実	配達サービスの充実	
全体	568	29.0	27.6	29.8	5.6	3.3	13.7	11.3	9.5	13.2	
性別	男性	243	27.6	26.3	28.4	7.8	2.5	16.0	9.9	7.8	12.8
	女性	260	30.0	28.1	32.3	3.1	3.8	11.2	11.5	15.4	
年齢	18~29歳	50	34.0	28.0	42.0	4.0	0.0	14.0	16.0	4.0	12.0
	30~39歳	85	25.9	31.8	29.4	4.7	5.9	18.8	8.2	10.6	12.9
	40~49歳	77	22.1	26.0	37.7	6.5	1.3	11.7	13.0	6.5	5.2
	50~59歳	88	27.3	29.5	28.4	3.4	1.1	13.6	5.7	11.4	18.2
	60~69歳	120	32.5	25.8	33.3	6.7	4.2	15.8	12.5	5.0	10.8
	70歳以上	143	31.5	26.6	19.6	7.0	4.9	10.5	12.6	15.4	17.5

	n(単位:人)	ポイント還元サービス	キャッシュレスへの対応	デリバリー(出前)サービスの充実	空き店舗対策	飲食店の充実	娯楽施設の充実	その他	無回答	
全体	568	11.6	6.0	15.1	22.2	20.8	9.7	10.0	7.7	
性別	男性	243	9.5	8.2	13.6	23.0	22.2	9.5	4.9	7.4
	女性	260	13.8	4.2	18.1	21.2	21.2	10.4	3.8	6.5
年齢	18~29歳	50	8.0	10.0	22.0	16.0	22.0	30.0	2.0	2.0
	30~39歳	85	11.8	14.1	25.9	14.1	18.8	16.5	5.9	0.0
	40~49歳	77	15.6	11.7	24.7	18.2	32.5	7.8	2.6	2.6
	50~59歳	88	6.8	8.0	18.2	23.9	28.4	4.5	6.8	4.5
	60~69歳	120	14.2	0.8	8.3	28.3	20.8	8.3	1.7	10.8
	70歳以上	143	11.9	0.0	5.6	25.2	11.2	4.2	4.2	14.7

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

地区別

地区別でみると、赤平市街を中心として東側(芦別側)の地区では「安売り・特売など」が、西側(滝川側)の地区では「家の近くに店がある」が最も多い回答となりました。

(単位：%)

	n(単位:人)	家の近くに店がある	安売り・特売など	個性的な店舗や品ぞろえ	店主(店員)とのコミュニケーション	商品の詳しい説明が受けられる	商店街に集まるイベント	休憩できる場所・施設	送迎サービスの充実	配達サービスの充実	
全体	568	29.0	27.6	29.8	5.6	3.3	13.7	11.3	9.5	13.2	
地区別	平岸地区	54	33.3	35.2	31.5	0.0	7.4	7.4	11.1	16.7	18.5
	茂尻・百戸・エルム地区	90	30.0	31.1	27.8	5.6	8.9	14.4	7.8	11.1	11.1
	住友地区(住友・日の出)	73	17.8	34.2	24.7	6.8	1.4	20.5	15.1	6.8	12.3
	赤平市街(泉町・錦町・本町・大町・東大町)	81	17.3	28.4	35.8	9.9	0.0	18.5	13.6	3.7	9.9
	豊里地区(昭和・桜木・宮下・豊栄・幸・美園)	104	34.6	25.0	33.7	3.8	3.8	8.7	11.5	5.8	10.6
	文京・豊丘・若木・赤間・東豊里・西豊里地区	142	33.1	23.9	28.9	5.6	1.4	14.1	9.9	12.0	15.5
	住吉・共和・槻岡地区	20	45.0	5.0	15.0	10.0	0.0	5.0	15.0	20.0	25.0

	n(単位:人)	ポイント還元サービス	キャッシュレスへの対応	デリバリー(出前)サービスの充実	空き店舗対策	飲食店の充実	娯楽施設の充実	その他	無回答	
全体	568	11.6	6.0	15.1	22.2	20.8	9.7	10.0	7.7	
地区別	平岸地区	54	18.5	5.6	7.4	14.8	14.8	5.6	1.9	7.4
	茂尻・百戸・エルム地区	90	6.7	3.3	14.4	24.4	15.6	6.7	3.3	8.9
	住友地区(住友・日の出)	73	15.1	4.1	12.3	19.2	19.2	12.3	4.1	11.0
	赤平市街(泉町・錦町・本町・大町・東大町)	81	6.2	6.2	14.8	24.7	17.3	18.5	4.9	8.6
	豊里地区(昭和・桜木・宮下・豊栄・幸・美園)	104	13.5	4.8	19.2	20.2	22.1	11.5	4.8	5.8
	文京・豊丘・若木・赤間・東豊里・西豊里地区	142	12.7	9.2	18.3	23.2	26.8	6.3	3.5	5.6
	住吉・共和・槻岡地区	20	10.0	10.0	10.0	40.0	25.0	5.0	5.0	5.0

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

(6) 普段利用するお店について

① 生鮮食料品（肉、魚、野菜など）

市内の大型店を利用する方が 63.9%、市外の大型店を利用する方が 21.5%という結果になりました。
(単位：%)

	大型店	個人店	コンビニ	ネット・通販	移動販売	その他	無回答
市内	63.9	0.7	1.1	0.2	0.7	0.4	3.2
市外	21.5	0.5	0.0	0.0	0.0	0.2	0.5
無回答	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6

② その他食料品（米、パン、お菓子など）

市内の大型店を利用する方が 61.3%、市外の大型店を利用する方が 15.5%で、市内のコンビニを利用する方が 6.7%という結果となりました。

(単位：%)

	大型店	個人店	コンビニ	ネット・通販	移動販売	その他	無回答
市内	61.3	0.9	6.7	0.2	0.2	0.4	3.9
市外	15.5	1.1	0.2	0.5	0.0	0.5	0.5
無回答	2.3	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	5.8

③ 酒・飲料

市内の大型店を利用する方が 65%、市外の大型店を利用する方が 12.3%で、市内のコンビニを利用する方が 7%という結果となりました。

(単位：%)

	大型店	個人店	コンビニ	ネット・通販	移動販売	その他	無回答
市内	65.0	0.2	7.0	0.0	0.4	0.5	3.9
市外	12.3	0.5	0.5	0.5	0.0	0.0	0.5
無回答	2.1	0.0	0.2	0.2	0.0	0.0	6.2

④ 日用品（洗剤、ティッシュなど）

市内の大型店を利用する方が 69.7%、市外の大型店を利用する方が 14.8%という結果となりました。
(単位：%)

	大型店	個人店	コンビニ	ネット・通販	移動販売	その他	無回答
市内	69.7	0.7	0.5	0.5	0.2	0.4	3.2
市外	14.8	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.7
無回答	2.1	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	6.3

⑤ 衣類（下着、服など）

市外の大型店を利用する方が 63.9%、インターネットなどの通信販売を利用する方が 10.6%となり、市内の大型店を利用する方は 5.3%、市内の個人店を利用する方は 2.6%にとどまる結果となりました。
(単位：%)

	大型店	個人店	コンビニ	ネット・通販	移動販売	その他	無回答
市内	5.3	2.6	0.2	0.4	0.0	0.4	1.8
市外	63.9	1.9	0.0	10.6	0.0	0.9	2.1
無回答	1.6	0.4	0.0	1.1	0.2	0.2	6.7

⑥ 身の回り品（靴、かばん、アクセサリなど）

市外の大型店を利用する方が 62%、インターネットなどの通信販売を利用する方が 13.7%となり、市内のお店の利用者は、大型店と個人店をあわせても 5.8%という結果となりました。
(単位：%)

	大型店	個人店	コンビニ	ネット・通販	移動販売	その他	無回答
市内	2.6	3.2	0.0	0.4	0.2	0.0	1.4
市外	62.0	2.5	0.0	13.7	0.0	0.9	2.1
無回答	1.6	0.2	0.0	1.6	0.0	0.2	7.6

⑦ 家電製品

市外の大型店を利用する方が 71%と大部分を占め、次に多いのが市内の個人店を利用する方で 7.6%となり、インターネットなどの通信販売を利用する方は 5.8%という結果となりました。
(単位：%)

	大型店	個人店	コンビニ	ネット・通販	移動販売	その他	無回答
市内	1.4	7.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9
市外	71.0	1.1	0.0	5.8	0.0	0.7	1.9
無回答	1.9	0.5	0.0	0.5	0.0	0.0	6.7

(7)商業振興について寄せられた ご意見・ご要望(記述式)

個人商店・飲食店などに関する内容

- 個人店は開店しているのか閉店しているのかはっきりしない。
- 利用しようと思っても営業していないことが多い。
- 個人店には品ぞろえが悪いので市外の大型店で買い物をする。
- 店の情報も発信しないで来るお客をだまって待っているし、商品は古くさい物ばかりでがっかりする。
- 商品の入荷頻度が低い。
- 内装・外装がきれいじゃないところもある。見栄えを良くすべき。
- 入り口がフラットではないので、車いすでは買い物ができない。
- YouTube で店の紹介をしてほしい。
- 何か買わなければ出てこられない雰囲気がある。
- 食料品は大型店で買えるので、商店街や個人店には、そこでしか買えないものや、特化した品ぞろえが必要。
- 駐車場が無いと利用しづらい。
- Wi-Fi を使えるようにしてほしい。
- 信用度が低いので利用しようと思わない。
- 慣れた客と初めての客に対しての態度が違いすぎてまた行きたいと思えない。
- 現在の店舗は暗くてせまくて入りづらい。
- 今あるカフェや居酒屋を知らない若者もたくさんいるはず。何らかの形 (SNS など) でもっとアピールが必要。
- 出前をもっと楽しみたい。おしゃれなカフェが多くあると嬉しい。
- 気軽にテイクアウトを利用できる店が増えてほしい。(土、日の昼間など)
- 美味しい飲食店はいくつもあるが、どの店も入りづらい。
- 大型店もだが、特に個人店の接客態度が悪い。飲食店の味は良いのに本当に残念。市内の飲食店は多くないが、市外の方にお勧めできるお店はもっと少ない。
- テイクアウトを積極的に取り入れてほしい。
- 子ども連れで気軽にはいれる席やメニューを取り入れているお店なら市内でも外食しようと思える。
- コロナ禍なので飲食店に対して手厚い支援を願いたい。
- コープやマックスバリュを利用するが、滝川の方が品ぞろえが多く、セール品も安いイメージがある。
- 賃金は安いのに、物価が高い感じがする。
- まちに行っても何も無いと感じる。活気のある町にしてほしい。
- 商店の人々も市民に対して何を売ろうとしているのか分からない。
- おうちで火まつりのテイクアウト 500 円で抽選券がもらえるのは良く考えられていてとても良かった。
- 赤平オーキッドの技術はすごいので赤平の技術にもっと注目してほしい。

- ホットレッグは好きだが、値段の割にお得感がない。市内に養鶏場を作りその鶏肉で市外に売り出してはどうか。
- 駐車場が狭い。遠い。
- 飲食の店も少ない。また行きたいと思う味のお店があれば、他市からも人が来る。
- 美味しい食べ物を自慢できるまちになったら良いと思う。

■ お店がほしいなどに関する内容

- A コープがあったところにスーパーがあると良い。
- 本屋があれば良い。
- 子どもの助成金や医療費助成など、ありがたいものがあるが、子ども用品店がほしい。
- 子どもが室内で遊べる施設があると嬉しい。
- 子どもがいても入りやすい店、もしくはドライブスルー、テイクアウト、デリバリーがあると良い。
- 美容室は託児できると嬉しい。
- 滝川まで行かないとベビー用品がそろわない。
- 市外からも通いたくなる魅力のある店が増えてほしい。
- 衣料品を扱うお店（例えばしまむらの様な）があると、だいたい市内で買い物が済む人が多くなるかもしれない。
- ピザ屋、ファストフード、回転寿司、服屋、おもちゃ屋、靴屋、弁当屋など子供のいる家庭に必要な店がない。
- 市外まで行っているのに、市内にコインランドリーがあったら便利。
- 衣料品、雑貨など市内1カ所で揃う店舗があれば利用する。
- 公式の道の駅が赤平にもほしい。なかなか難しいご時世だが、そういった施設を作り、イベント等をして人を集めたら良いと思う。
- 大型店をつかってテナントに集約してはどうか。
- 市内で買い物したくても、靴は市内で見つからない。衣類も市内では品数も少ないし、サイズもない。
- 道の駅をつかって農家さんや商店、工場から出店出来ればすばらしい。
- 道の駅があれば赤平市の魅力や特産品のPRになる。
- まちの中心部にコンビニが無いのは不便。
- 赤平の農産物やティッシュなどの特産物を安く買える場所がほしい。
- 赤平ならではのお土産をもっとつくってほしい。
- 大型店舗がないので、観光客が市に来てもお金が落ちず、若い世代の方たちが市外へと流れる。廃校を有効活用すべき。
- イオンのような大きなお店や服屋などがあればもっと人も増え便利になると思う。
- 高齢者が多いので近所に気軽に食事や日常の買い物ができる商業施設が必要。
- 大きいホームセンターがほしい。
- 冬場だとバスで買い物に出るのは年齢的にも難しいので文京地区に小さくてもよいのでスーパーがほしい。

- パン屋さん（ベーカリー）が無いのが残念。市内でパン屋を開業してくれるような方を地域おこし協力隊で呼べないか。他の自治体ではドーナツ屋さんを開業したなど新聞記事で見たことがある。
- 各地区にコンビニを設置するべきだと思う。
- 24時間営業でなくてもよいので、コンビニが近くにほしい。
- これから先の時代にあった商業振興が必要。大型店が近くにあると便利だが、地元・地域の小規模店はさらに衰退する要因になる。
- 足りないものを買う店はあるが、このコロナの時期に密になるのもイヤだが、他市に行った方が1カ所で色々なものがそろうのでまとめ買いも便利。

空き店舗などに関する内容

- 古くなった建物（特に店舗）の対策をしてほしい。
- シャッターの下りた店ばかりでゴーストタウンのようなので、空き店舗で年に数回イベントをしてほしい。今まで住んでいた町では共通の券を買って、くじ引きやヨーヨー釣りなどをしながら商店街を歩くイベントがあった。冬にアイスクャンドルのイベントで夜の商店街を歩くイベントもあった。老朽化して危険な家も歩道ギリギリにあるのでなんとかしてほしい。
- 空き店舗が目立ち、寂しい印象があります。
- 昨年から新型コロナウイルス感染症の影響で、厳しい営業状況だと思うが、商店や飲食店の営業継承が心配。高齢化や後継者不足で、将来的に営業の継続が厳しいのではないかと。とくに飲食店の昔ながらの味を継承することなど、考えなければならないと思う。
- 空き店舗の有効活用ができるとうい。

人口に関する内容

- この人口で商業振興するのは無理。移住対策や住宅新築支援などで人口を増やす（減らさない）対策が第一。
- まず若者がいない。
- 大手のお店があればなどの意見が出るのが当然だが、出店しようと思っても人口が年々減り、なおかつまちに人が歩いていないところでは出店しようとは思わない。
商店街を見ても昔からのお店が何とか営業している状況で、飲食店以外で新しいお店が出店していないのが現状。
- 若い方が市に残る理由の大半は市に職場があるからだと思うので、人口を増やしたり、商業振興の満足度を上げたりするにはやはり雇用の拡大が必要。赤平はもともと産業で栄えたまちで、土地はあるのだから企業誘致にもっと力を入れ、もう一度産業のまちを復活させてほしい。
- 人口を考えると不満はない

移動手段に関する内容

- 免許がないので家族が車で買い物に行くときに同乗するが、徒歩で行ける場所に買い物できるお店がないのでフラッと立ち寄って買い物することができない。家族が免許返納したときの買い物のための「足」が心配。「足」の整備をしてほしい。

- 急用で買い物に行きたくても、バスが1時間に1本で困っている。
- 過疎地の高齢者に対してお店までの移送を確保できると良い。

商業振興に関する内容

- 広場は複数あるが、有効利用するイベントが少ない。
- 高齢者が多く、全年代を対象としたイベントの開催は難しいと思うが、イベントごとに対象の年齢層を絞ってみてはどうか。
- 現在行われているイベントは規模が大きく期間も長いですが、小規模のものをシーズンで毛色の違うものを開催してはどうか。
- 人口減少、高齢化等の影響か商店の閉店が多く活気がない。商業振興について、行政も真剣に考える必要がある。
- 少しずつでも商店街の活性化を進めてほしい。18時以降や日曜、個人店では買い物ができず、市内での買い物が難しい。
- 行ってみたいとか、他市の人が「ここで買う」という物が赤平には無い。
- 芦別のAポイントのように商工会加入の商店で共通のポイントがあると市内での買い物促進になる。端末の導入費用は全額補助すべき。
- アプリを開発して、市内で利用できる電子マネーなどがあると良い。利用に対しポイントも付与すると、なお良い。(大手チェーンへの対抗策にもなる。)還元率は1%で商店と折半することで地元企業への補助の役割にもなると思う。

その他に関する内容

- まちの歴史は物に限らず、そこに住んできた人の人生だと思う。守る考えはあるのか。
- 一度全てなくせばいい。無理にやらせたりすがったりせず、なくなれば新たなニーズが生まれ育っていくと思う。
- バイパスで市内を通る車が減少し、他市からの客も減った。昔は22も炭鉱があり、国の炭鉱への支援がなくなったことで全て閉山し、仕事を探す人の人口流出が止まらずまちの活気がなくなった。シャッター街というが、昔は儲けられたから自分の店を出店したのであって個人的にはこれが今の赤平だと思う。(市は商店に商業振興を希望するのかもしれないが)
- 近隣の町へ自家用車で行くことが可能なうちは利用に不便を感じない。
- 市内には大型店は望めないのが現実だと思う。
- 望んでも無理とあきらめている。

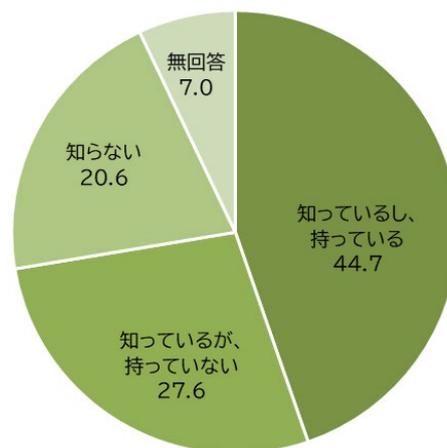
6. 防災について

(1) 防災について

① 「赤平市防災マップ（平成 29 年発行）」の認知度

回答者全体の割合（単位：％）

「赤平市防災マップ（平成 29 年発行）」の認知度は、「知っているし、持っている」（44.7%）、「知っているが、持っていない」（27.6%）と回答した割合が、「知らない」と回答した 20.6% を大きく上回る結果となりました。



男女別・年齢別（単位：％）

男女別・年齢別にみると、「18～29 歳」では「知っているが、持っていない」が 42% と最も多く、他の年齢ではすべて「知っているし、持っている」が最も多い結果となりました。

	n(単位:人)	知っているし、持っている	知っているが、持っていない	知らない	無回答	
全体	568	44.7	27.6	20.6	7.0	
性別	男性	243	39.9	31.3	21.8	7.0
	女性	260	48.5	26.5	18.1	6.9
年齢	18～29歳	50	16.0	42.0	38.0	4.0
	30～39歳	85	44.7	25.9	28.2	1.2
	40～49歳	77	39.0	35.1	20.8	5.2
	50～59歳	88	47.7	25.0	20.5	6.8
	60～69歳	120	53.3	24.2	15.8	6.7
	70歳以上	143	49.7	24.5	14.0	11.9

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

地区別（単位：％）

地区別でみると、「知っているし、持っている」が 50% を超えた地区は「茂尻・百戸・エルム地区」（50%）と「赤平市街（泉町・錦町・本町・大町・東大町）」（51.9%）となりました。

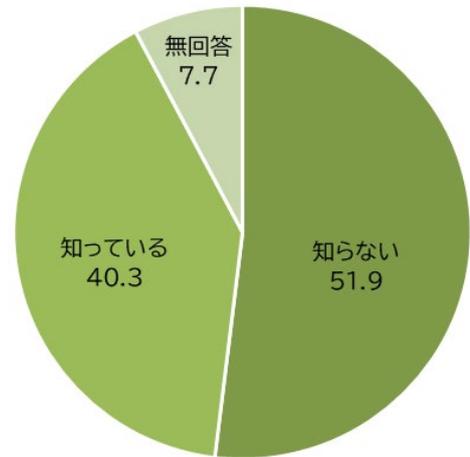
	n(単位:人)	知っているし、持っている	知っているが、持っていない	知らない	無回答	
全体	568	44.7	27.6	20.6	7.0	
地区別	平岸地区	54	40.7	35.2	16.7	7.4
	茂尻・百戸・エルム地区	90	50.0	23.3	17.8	8.9
	住友地区(住友・日の出)	73	42.5	19.2	30.1	8.2
	赤平市街(泉町・錦町・本町・大町・東大町)	81	51.9	25.9	16.0	6.2
	豊里地区(昭和・桜木・宮下・豊栄・幸・美園)	104	42.3	31.7	21.2	4.8
	文京・豊丘・若木・赤間・東豊里・西豊里地区	142	43.7	30.3	19.0	7.0
	住吉・共和・梶岡地区	20	40.0	25.0	30.0	5.0

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

② 自分の地域で想定される災害についての認知度

回答者全体の割合（単位：％）

「知らない」と回答した割合が51.9%、「知っている」と回答した割合が40.3%となり、「知らない」割合が半数を超える結果となりました。



男女別・年齢別（単位：％）

男女別・年齢別にみると、「50～59歳」のみ、「知っている」と回答した割合が「知らない」と回答した割合よりも多く、47.7%の方が「知っている」と回答しました。

また、一番多く「知らない」と回答したのは、「18～29歳」で、66%という結果となりました。

	n(単位:人)	知っている	知らない	
全体	568	40.3	51.9	
性別	男性	45.3	47.7	
	女性	36.2	56.2	
年齢	18～29歳	30.0	66.0	
	30～39歳	36.5	61.2	
	40～49歳	41.6	53.2	
	50～59歳	88	47.7	45.5
	60～69歳	120	40.0	52.5
	70歳以上	143	42.7	44.1

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

地区別（単位：％）

地区別でみると、認知度が50%を超えた地区はありませんでした。

最も認知度が低かった地区は「住友地区（住友・日の出）」で26%という結果となりました。

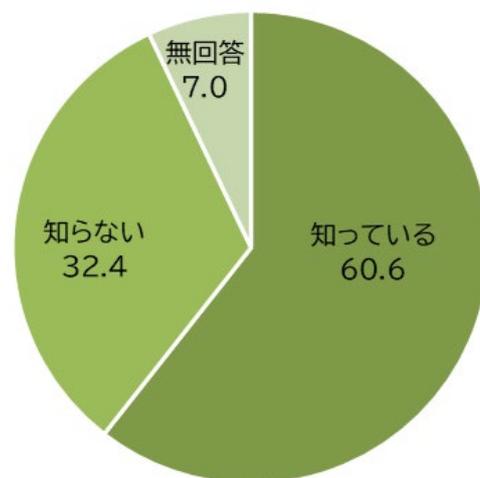
	n(単位:人)	知っている	知らない	
全体	568	40.3	51.9	
地区別	平岸地区	42.6	50.0	
	茂尻・百戸・エルム地区	37.8	51.1	
	住友地区(住友・日の出)	73	26.0	67.1
	赤平市街(泉町・錦町・本町・大町・東大町)	81	44.4	49.4
	豊里地区(昭和・桜木・宮下・豊栄・幸・美園)	104	46.2	46.2
	文京・豊丘・若木・赤間・東豊里・西豊里地区	142	42.3	50.7
	住吉・共和・幌岡地区	20	45.0	50.0

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

③ 自分の地域の「指定避難所」や「指定緊急避難所」についての認知度

回答者全体の割合（単位：％）

自分の地域の「指定避難所」や「指定緊急避難所」について、「知っている」と回答した割合は60.6%となり、「知らない」と回答した32.4%を大きく上回る結果となりました。



男女別・年齢別（単位：％）

男女別・年齢別にみても、「知っている」と回答した割合が一番小さな「18～29歳」でも50%となり、割合が一番大きな「60～69歳」では63.3%という結果となりました。

		n(単位:人)	知っている	知らない
全体		568	60.6	32.4
性別	男性	243	60.5	32.5
	女性	260	60.0	33.5
年齢	18～29歳	50	50.0	46.0
	30～39歳	85	62.4	36.5
	40～49歳	77	57.1	37.7
	50～59歳	88	61.4	31.8
	60～69歳	120	63.3	30.0
	70歳以上	143	62.9	25.2

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

地区別（単位：％）

地区別でみると、「知っている」の割合は「平岸地区」が70.4%と突出して多く、続いて「文京・豊丘・若木・赤間・東豊里・西豊里地区」（65.5%）、「豊里地区（昭和・桜木・宮下・豊栄・幸・美園）」（63.5%）の順に多くなっています。

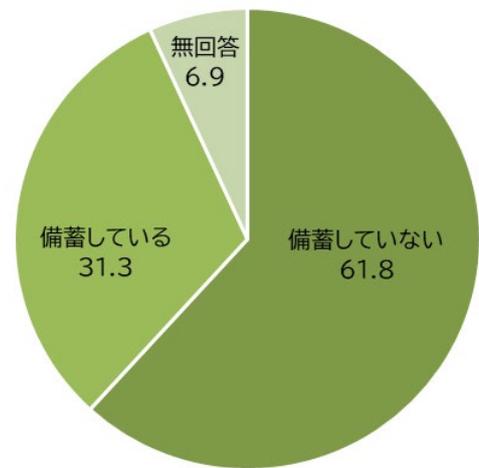
		n(単位:人)	知っている	知らない
全体		568	60.6	32.4
地区別	平岸地区	54	70.4	22.2
	茂尻・百戸・エルム地区	90	53.3	36.7
	住友地区(住友・日の出)	73	50.7	43.8
	赤平市街(泉町・錦町・本町・大町・東大町)	81	61.7	32.1
	豊里地区(昭和・桜木・宮下・豊栄・幸・美園)	104	63.5	29.8
	文京・豊丘・若木・赤間・東豊里・西豊里地区	142	65.5	28.2
	住吉・共和・幌岡地区	20	55.0	40.0

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

④ 災害に備えた食糧や生活用品の備蓄の有無について

回答者全体の割合（単位：％）

災害に備えて「備蓄している」と回答した割合は31.3%となり、「備蓄していない」と回答した割合61.8%の約半数に留まる結果となりました。



男女別・年齢別（単位：％）

男女別・年齢別にみても、全ての年齢で「備蓄していない」と回答した割合が「備蓄している」と回答した割合と比べて多くなっています。

また、「備蓄している」と回答した割合が最も少なかったのは「50～59歳」（28.4%）で、最も多かったのは「40～49歳」（35.1%）という結果になりました。

	n(単位:人)	備蓄している	備蓄していない
全体	568	31.3	61.8
性別	男性	31.3	62.1
	女性	32.7	61.2
年齢	18～29歳	30.0	66.0
	30～39歳	34.1	63.5
	40～49歳	35.1	59.7
	50～59歳	28.4	63.6
	60～69歳	32.5	61.7
	70歳以上	28.7	60.8

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

地区別（単位：％）

地区別でみると、「備蓄していない」と回答した割合が最も多かったのは「住友地区（住友・日の出）」（65.8%）で、続いて「住吉・共和・幌岡地区」（65%）、「平岸地区」「文京・豊丘・若木・赤間・東豊里・西豊里地区」（64.8%）の順で多い結果となりました。

また、「備蓄している」と回答した割合が一番多かったのは「豊里地区（昭和・桜木・宮下・豊栄・幸・美園）」（37.5%）となりました。

	n(単位:人)	備蓄している	備蓄していない
全体	568	31.3	61.8
地区別	平岸地区	27.8	64.8
	茂尻・百戸・エルム地区	28.9	62.2
	住友地区(住友・日の出)	28.8	65.8
	赤平市街(泉町・錦町・本町・大町・東大町)	37.0	56.8
	豊里地区(昭和・桜木・宮下・豊栄・幸・美園)	37.5	56.7
	文京・豊丘・若木・赤間・東豊里・西豊里地区	28.2	64.8
	住吉・共和・幌岡地区	30.0	65.0

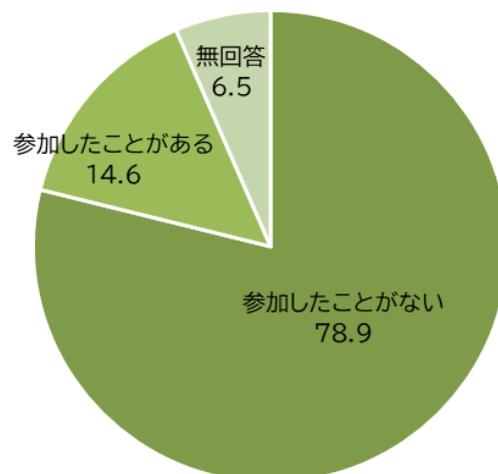
※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

(2)「総合防災訓練」や「出前講座」について

① 「総合防災訓練」や「出前講座」への参加経験

回答者全体の割合（単位：％）

「参加したことがない」と回答した割合が78.9%で、「参加したことがある」割合は14.6%という結果となりました。



男女別・年齢別（単位：％）

男女別・年齢別にみると、「参加したことがある」と回答した割合が一番多かったのは「70歳以上」で20.3%という結果になっており、「参加したことがない」と回答した割合が一番多かったのは「30～39歳」の90.6%でした。

	n(単位:人)	参加したことがある	参加したことがない
全体	568	14.6	78.9
性別	男性	19.3	74.1
	女性	11.9	82.3
年齢	18～29歳	10.0	86.0
	30～39歳	8.2	90.6
	40～49歳	16.9	77.9
	50～59歳	15.9	77.3
	60～69歳	12.5	81.7
	70歳以上	20.3	69.2

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

地区別（単位：％）

地区別でも、すべての地区で8割前後の方が「参加したことがない」と回答した結果となりました。

	n(単位:人)	参加したことがある	参加したことがない
全体	568	14.6	78.9
地区別	平岸地区	14.8	77.8
	茂尻・百戸・エルム地区	16.7	75.6
	住友地区(住友・日の出)	9.6	84.9
	赤平市街(泉町・錦町・本町・大町・東大町)	9.9	84.0
	豊里地区(昭和・桜木・宮下・豊栄・幸・美園)	16.3	77.9
	文京・豊丘・若木・赤間・東豊里・西豊里地区	16.9	76.8
	住吉・共和・幌岡地区	20.0	75.0

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

② 参加したいと思える「総合防災訓練」や「出前講座」の内容

回答者全体の割合（単位：％）

参加したいと思える「総合防災訓練」や「出前講座」の内容として一番多かった回答は、「避難時の心得（行動）」で39.4％という結果となり、続いて「備蓄品について」（29.9％）、「防災施設見学」（21.7％）の順で多い結果となりました。



男女別・年齢別（単位：％）

男女別・年齢別でみると、「40～49歳」以外はすべての項目で「避難時の心得(行動)」が最も多い結果となりました。また、30歳～49歳の方については「備蓄品について」が多い結果となりました。

	n(単位:人)	防災施設見学	避難時の心得(行動)	防災マップの見方	気象について	災害について	備蓄品について	避難所運営ゲーム	北海道地域防災マスター認定研修会
全体	568	21.7	39.4	21.3	9.9	19.9	29.9	9.9	4.2
性別									
男性	243	23.5	36.6	19.3	14.0	25.1	26.7	7.0	4.1
女性	260	19.6	44.6	23.8	6.9	17.3	33.5	14.2	5.0
年齢									
18～29歳	50	26.0	36.0	22.0	10.0	22.0	30.0	14.0	0.0
30～39歳	85	21.2	41.2	21.2	16.5	23.5	41.2	14.1	5.9
40～49歳	77	27.3	32.5	15.6	10.4	26.0	35.1	9.1	9.1
50～59歳	88	18.2	43.2	23.9	12.5	21.6	25.0	10.2	8.0
60～69歳	120	23.3	36.7	20.8	5.0	12.5	27.5	10.8	2.5
70歳以上	143	18.9	43.4	23.1	8.4	19.6	25.2	5.6	1.4

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

地区別（単位：％）

地区別でみると、すべての地区が「避難時の心得(行動)」が最も多い結果となりました。

	n(単位:人)	防災施設見学	避難時の心得(行動)	防災マップの見方	気象について	災害について	備蓄品について	避難所運営ゲーム	北海道地域防災マスター認定研修会
全体	568	21.7	39.4	21.3	9.9	19.9	29.9	9.9	4.2
地区別									
平岸地区	54	14.8	51.9	14.8	5.6	7.4	29.6	11.1	1.9
茂尻・百戸・エルム地区	90	18.9	31.1	20.0	5.6	15.6	22.2	5.6	3.3
住友地区(住友・日の出)	73	30.1	45.2	24.7	6.8	23.3	28.8	6.8	5.5
赤平市街(泉町・錦町・本町・大町・東大町)	81	17.3	34.6	18.5	4.9	22.2	33.3	14.8	1.2
豊里地区(昭和・桜木・宮下・豊栄・幸・美園)	104	24.0	40.4	27.9	17.3	19.2	35.6	9.6	5.8
文京・豊丘・若木・赤間・東豊里・西豊里地区	142	23.9	38.7	20.4	12.0	24.6	29.6	12.7	4.9
住吉・共和・幌岡地区	20	15.0	45.0	10.0	20.0	20.0	25.0	0.0	10.0

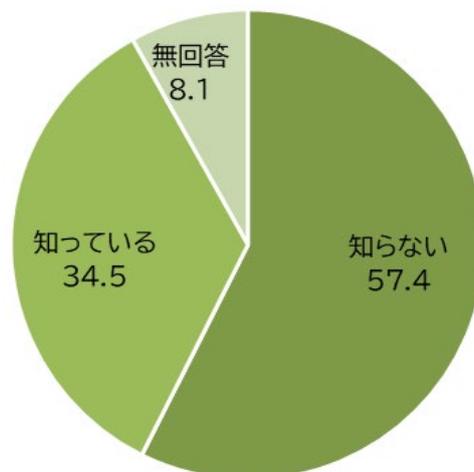
※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

(3)防災行政無線の認知度について

「防災行政無線」がどのようなものか

回答者全体の割合（単位：％）

「防災行政無線」がどのようなものか「知っている」と回答したのは34.5%で、「知らない」と回答した57.4%を大きく下回る結果となりました。



男女別・年齢別（単位：％）

男女別・年齢別でみると、「知らない」と回答した割合が最も多かったのは「18～29歳」（74%）で、続いて「30～39歳」（63.5%）、「40～49歳」（61%）の順になりました。

「知っている」と最も多く回答したのは「60～69歳」（40.8%）となり、どの年齢も「知っている」と回答した割合は50%を超えない結果となりました。

		n(単位:人)	知っている	知らない
全体		568	34.5	57.4
性別	男性	243	37.9	53.9
	女性	260	31.9	61.2
年齢	18～29歳	50	22.0	74.0
	30～39歳	85	34.1	63.5
	40～49歳	77	33.8	61.0
	50～59歳	88	36.4	55.7
	60～69歳	120	40.8	52.5
	70歳以上	143	33.6	51.7

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

地区別（単位：％）

地区別でみると、「住吉・共和・幌岡地区」以外のすべての地区で「知らない」と回答した割合が多い結果となりました。

「知っている」と回答した割合が最も多かったのは「住吉・共和・幌岡地区」（70%）でした。

		n(単位:人)	知っている	知らない
全体		568	34.5	57.4
地区別	平岸地区	54	37.0	53.7
	茂尻・百戸・エルム地区	90	32.2	56.7
	住友地区(住友・日の出)	73	30.1	64.4
	赤平市街(泉町・錦町・本町・大町・東大町)	81	35.8	58.0
	豊里地区(昭和・桜木・宮下・豊栄・幸・美園)	104	30.8	61.5
	文京・豊丘・若木・赤間・東豊里・西豊里地区	142	35.2	56.3
	住吉・共和・幌岡地区	20	70.0	25.0

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目